

# 佐那具駅前トイレ新築工事

図面リスト					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 1	建築工事特記仕様書 [1]	E - 1	電気設備 特記仕様書	M - 1	機械設備 特記仕様書
A - 2	建築工事特記仕様書 [2]	E - 2	電気設備 配置図	M - 2	機械設備 配置図
A - 3	配置図及仮設計画図	E - 3	電気設備 設備図	M - 3	機械設備 凡例・器具表・平面詳細図
A - 4	面積表			M - 4	機械設備 合併処理浄化槽詳細図
A - 5	外部仕上表・内部仕上表・平面詳細図・屋根伏図				
A - 6	立面図				
A - 7	断面図				
A - 8	矩計図				
A - 9	展開図				
A - 10	建具伏図・建具表・天井伏図				
A - 11	木造建築特記仕様書				
A - 12	基礎伏図・基礎詳細図・杭伏図・杭特記仕様書				
A - 13	土台伏図・梁伏図				
A - 14	耐力壁配置図・柱の接合金物配置図・軸組図				

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事		承認		検図		設計		製図		作図年月日	図面番号
	図面名称			訂正年月日		種別							
	縮尺												

# 建築工事特記仕様書 [1]

- 工事名称 佐那具駅前トイレ新築工事
- 建築場所 三重県伊賀市外山 203-6の一部、203-11の一部
- 用途地域 無指定地域 法22条地域
- 敷地面積 264.43㎡
- 構造、規模 木造1階建 建築面積 10.35㎡ 延床面積 10.35㎡

## 1. 一般共通事項

- ①適用範囲 1) 図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されてある事項以外は「国土交通大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書」平成28年度版に準ずる。但し本工事に関係ない事項は適用しない。  
2) 特記事項は○印の付いたものを適用する。  
○印の無い場合は※印の付いたものを適用する。  
○印※印のある場合は共に適用する。

- ②設計図書順位 1) 現場説明書（質疑応答書）含む  
2) 特記仕様書  
3) 設計図  
4) 標準仕様書  
5) 公共規格及びこれに準ずる規格

- ③疑義及び軽微な変更 図面、仕様書の内容に相違のある場合、明記のない場合、又は疑いを生じた場合は全て監督員と協議し、その指示により行う。

- ④別途工事との取合い 請負者は併行して行われる別途工事に対して工事進行が速やかに行われる様、協力の事。

- ⑤提出書類 1) 工程表、施工計画書、工事日報、部分下請負通知書、コンクリート調査表、施工図、工作図、各種材料試験成績表、竣工図、引渡書、その他材料試験結果、品質性能証明書、各保証書等

- 2) 工事写真 建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」に基づき撮影すること。  
着工時～敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。

- 工事中～進捗状況の撮影記録をすると共に、特に竣工後、隠ぺい又は埋設される部分は被写真に巾広テープをそえて撮影。

- 完成時～着工時と同位置にて撮影。

- 3) 竣工図はA2版の製本及び2ツ折製本 2部、提出図面は（意匠図、構造図、設備図）  
4) その他監督員の指示する書類

- ⑥官公署その他手続 工事中に必要な諸届、諸手続は請負者の責任において行う事とする。

- ⑦発生材の処理 ・引渡しを要するもの（ ）  
・引渡しを要しないもの（ ）  
※構外搬出（関係法令に従い適切に処理する）  
建設廃棄物マニフェスト写しを提出すること

8. 化学物質の濃度測定 ・ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン

## 2. 仮設工事

1. 監督職員事務所 ・適宜 ・10㎡程度 ・設けない  
種別 ・1号・2号・3号・4号・5号（2.3.1表）  
備品（特記に明記）

- ②工事用電力 構内既存 ・利用出来る（・有償 ・無償）○利用出来ない  
用水 の施設 ・利用出来る（・有償 ・無償）○利用出来ない

- ③仮囲い ネットフェンス H=1,800程度  
④危険防止 ・シート貼  
⑤足場 ※内、外部足場  
6. 工事用進入路 ・適宜、鉄板等の養生を行うこと。  
⑦看板 建築確認済み看板等、その他関係法上必要な看板、監督員が指示する看板

## 3. 土工事

- ①埋戻し及び盛土 種別 ・A種 ○B種（3.2.1表）  
・C種 ・D種

- ②残土処分 ※構外搬出处（適正処分）  
・構内処分（敷き均し・たい積）

- ③建物周囲の整地 ※砂利敷き又は砕石敷き（周囲 100 ）

4. 山留め ・鋼製 ・木製

## 4. 地業工事

- ①地盤柱状改良杭 種別 ・RCくい 1種 ・2種  
くい ・PCくい A種 ・B種 ・C種  
・高強度PCくい（ ）  
○鋼管くい（φ101.6 L=3.0m）

2. くい頭補強 コンクリート 躯体と同強度 ・24 ・21  
鉄筋 ・SD295A ・SD345

3. くい継手 アーク溶接

4. 場所打ちコンクリート 地業設計 スランプ ・18 ・15  
基準強度（N/m<sup>2</sup>）

- ⑤捨コンクリート 6章14節 [無筋コンクリート] による。  
地業 厚さ ※60 ○50（土間下は○ア25）（mm）

- ⑥割り石、玉石及び砂利地業 種別 ※砕石 ・RC-40
- |     |                |         |
|-----|----------------|---------|
|     | 幅              | 厚さ      |
| 基礎  | フーチング各外部より+100 | ・50 ○50 |
| 地中梁 | 〃              | ・50 ○20 |

- ⑦床下防湿層 種類 ※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm  
重ねのみ込み ※250mm以上とする。

## 5. 鉄筋工事

1. 異形鉄筋 種別 ※JIS G3112 ・JIS G3117（5.2.1表）  
・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390

2. 丸鋼 種別 ・JIS G3112 ・JIS G3117（5.2.1表）  
種別 ・SR235 ・SR295

3. 溶接金網 ・JIS規格品（6φ150×150）  
使用箇所（ ）

4. 鉄筋の継手
- |       |        |      |
|-------|--------|------|
| 接合方法  | 径      | 施工箇所 |
| ※重ね継手 | ・D16以下 |      |
| ※ガス圧接 | ・D19以上 |      |

5. 土間コンクリート補強 ・A型 ・B型 圧接試験を行うこと。

## 6. コンクリート工事

1. コンクリート
- |     |      |
|-----|------|
| 種別  | 使用箇所 |
| ※普通 | 全体   |
| ・簡易 |      |
| ・暑中 |      |
| ・寒中 |      |

2. 設計強度基準 N/m<sup>2</sup> ※18（ ） ・21（基礎、スラブ） ・22.5  
3. レディミクスト 種別 ※I類（・標準品 ・特注品）（6.1.1表）  
コンクリート ・II類

4. セメント 種別 ※普通ポルトランドセメント（ ）  
高炉セメントB種（ ）

5. 混和材料 混和剤 ※AE剤及びAE減水剤標準形I種  
・その他

6. 軽量コンクリート 種別 ・1種 ・2種（6.11.1表）  
7. 床コンクリート 種別  
こて仕上げ

8. 無筋コンクリート  
9. 打放し仕上げ 種別 ・A種 ・B種 ・C種  
型枠 種別（合板せき板）  
厚さ ・12（mm）  
仕上げ ・A種 ・B種 ・C種（6.2.3表）

## 7. 鉄骨工事

1. 鋼材 ※規格品（構造図面による）
- |               |           |
|---------------|-----------|
| ・JIS、G3101（ ） | 2種SS400   |
| ・JIS、G3106（ ） | 2種SM490   |
| ・JIS、G3444（ ） | 2種STK400  |
| ・JIS、G3466（ ） | 2種STKR490 |

2. 高力ボルト ※JISB1186高力ボルト（規格品）  
・特殊高力ボルト ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト  
セットの種類 ※2種（S10T）  
・行う ・行わない

3. 溶接検査 ・深透深傷試験 ・放射線試験 ・マクロ試験  
・超音波深傷試験

4. さび止め塗装 種別 ・A種 ※B種（工場塗り現場補修）（18.3.1表）  
5. アンカーボルト 工法 ・A種 ※B種 ・C種（7.10.1表）  
6. 柱底均し仕上げ 工法 ・A種 ※B種（7.10.2表）

7. 加工、組立 国土交通省大臣認定  
全鋼連グレード資格（ J ランク ）  
8. デッキプレート V形デッキプレート t=1.2

## 8. ブロック及びALCパネル工事

- ①補強コンクリートブロック 種別 ・A種 ・B種 ※C種（普通ブロック）  
厚さ ○00 ・120 ・150 ・190（mm）

- ②配筋 鉄筋 ・A類 ※B種（SD295A）  
縦筋 D10（※400 ・ ）@  
横筋 D10（※400 ・ ）@  
交差部、端部の仕様（※D13 ・D16）

3. れんが 種類 普通れんが ※並焼2等 ・並焼1等  
耐火れんが ※8種又は9種

4. PCコンクリート コンクリート設計基準 N/m<sup>2</sup> 鉄筋（ ）  
5. ALCパネル 屋根、床用（JIS規格品 ・S<sub>1</sub> ・S<sub>2</sub> ・S<sub>3</sub>）  
間仕切、外壁用（JIS規格品 ・W<sub>0</sub> ・W<sub>1</sub> ・W<sub>2</sub>）

6. 外壁パネル 工法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種（8.4.2表）  
7. 設備CB ○ア100

## 9. 防水工事

1. アスファルト防水
- |      |     |
|------|-----|
| 種別   | D-2 |
| 施工箇所 | 図示  |
- アスファルト 種類 ※3種 ・4種  
アスファルトルーフィング ※35kg品 ・45kg品  
砂付きルーフィング ※40kg品

2. 合成高分子ルーフィング防水
- |        |  |
|--------|--|
| 種別     |  |
| 施工箇所   |  |
| 厚さ（mm） |  |

3. 塗膜防水
- |      |     |
|------|-----|
| 種別   | X-1 |
| 施工箇所 | 図示  |

- ④シーリング防水
- |      |                         |
|------|-------------------------|
| 種別   | ・PS-2 ○MS-2 ・PU-2 ・SR-1 |
| 施工箇所 | 図示                      |
- （9.6.1表）

## 10. 石工事

1. 花こう岩類 品質 ※1等品 ・2等品（10.2.1表）  
仕上げ種類

2. 大理石 仕上げ厚さ ※18mm以上  
仕上げ種類 ※本磨き（10.2.2表）  
種石の種類 ※大理石

4. 敷石及び階段石 品質 ・1等品 ※2等品  
仕上げ種類 ※粗みがき

5. テラゾタイル
- |    |    |    |
|----|----|----|
| 種類 | 形状 | 寸法 |
|    |    |    |

## 11. タイル工事

- ①陶磁器質タイル
- |      |               |     |
|------|---------------|-----|
| 形状   | モザイクタイル、内装タイル | 室名  |
| 100角 | 陶器質タイル        | トイレ |

2. タイル型枠 役物
- |      |    |       |        |
|------|----|-------|--------|
| 種別   | 内壁 | ※使用する | ・使用しない |
| 使用箇所 |    |       |        |
| 外壁   |    | ※使用する | ・使用しない |
| 使用箇所 |    |       |        |

- 伸縮目地 位置 外壁 ※縦横直線に設ける  
保水剤 ※メチルセルローズの類  
検査 ※行う ・行わない

3. タイルの割付 タイルの割付図を作成のこと  
（必要に応じ壁、建具等の寸法を変更する）

## 12. 木工事

1. 木材 含水率 ※A種 ・B種（12.2.1表）  
構造材 等級 ※1等

- 造作材 等級 ・A種 ・B種（12.2.2表）  
樹種 ※代用樹種は認めない ・認める（12.2.3表）

- |            |      |                 |
|------------|------|-----------------|
| 区分         | 樹種   | 樹種              |
| 構造材        |      |                 |
| （梁・桁）      | 米松KD | ※1等 ※特1等（見える部分） |
| （母屋・棟木・垂木） | 米松KD | ※1等             |
| （土台・柱・大引）  | 米松   | ※1等             |
|            |      |                 |
| 造作材        | 米梅   | ※特1等            |
| 下地材        | 杉    | ※1等             |
|            | 桧    | ※1等             |

2. 集成材

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	建築工事特記仕様書 [1]					訂正年月日	A-1
	縮尺							種別

# 建築工事特記仕様書 [ 2 ]

2.表面仕上げ	種類	・A種 ※B種 ・C種	(12.1.1表)
3.集成材	造作用	等級 ※1等	
	化粧板	等級 ※1等	
4.防腐、防ぎ処理	防 腐	基礎パッキン・土台・大引き・柱(検材使用)	
	防 蟻		
	防 虫		

## 13. 屋根とい工事

①瓦葺き	平板瓦葺き	(三州陶器平板瓦いぶし銀 又は同等品以上)
2.折版ぶき	種類	※重ね型、はぜ締め型 厚さ (mm)
	類別	・A種 ※B種 (14.2.2表)
3.波板石綿	種 別	・A種 ※B種 ・C種 (13.4.1表)
	スレートぶき	
④とい	材種	カラー塩ビ(軒種) 角型W120 堅種 角型80×50)
	防 露	
	掃除口	・無 ・有 ( )
5.屋根仕上	カラーガルバリウム鋼板葺	0.4mm
	軒裏	ケイサンカルシウム板 t=6 EP塗り
折板メーカーリスト	奥平工事株式会社・三晃金属工業株式会社・橋淀川製鋼所	(記載は五十音順)

## 14. 金 属 工 事

①ステンレス	表面仕上げ	※HL程度	SUS304
2.アルミニウム及びアルミニウム合金	表面処理	種 別	(14.2.1表)
3.鉄の亜鉛メッキ	類別	・A種 ※B種	(14.2.2表)
4.軽量鉄骨	天井下地	野 縁	※19形(屋内) ※25形(屋外)
	壁下地	スタッド	50形, 75形, 100形
		ランナー	(14.5.1表)
5.手摺	種別	SS400	
6.金属成型版	種別		
	表面処理		
7.アルミニウム製笠木	種別	※(B-1種)又は(A-1種)	(14.2.1表)
8.インサート	材種	※鉄製	
9.その他	ラス		
	マンホール		
	既製金物	ツリーベース	
8.エキスパンションジョイント	材種	ステンレス製(参考メーカー 関バラキャップ社)	
		床 : UF #34、UFK #34	
		内壁 : UHIN #34	
		天井 : DCIN #34	
		外壁 : UGM #34	
		屋上 : DKR #34	
9. ルーフドレイン	材種	ステンレス製(参考メーカー 杉田エース株式会社)	
		JPR100	
		JPB100	

## 15. 左 官 工 事

1. ALCパネル用	種 別	・A種 ※B種	
	特殊プラスタ	塗り厚 ・3	※5~7 (mm)
2.仕上塗材	種 別	・A種 ※B種 ・C種	
	工 法		
3.吹付けの下地	ALCパネル下地の目地形状		
	処理	※V型目地	
	仕上塗材		
4.ロックウール吹付け	仕上げ厚	※B種	(mm)
5.セルフレベリング	○A10	セメント系	

## 16. 建 具 工 事

①アルミニウム製	建築特記仕様書	(16.2.1表)
	建具	気密性種類 ※A-3 ・A-4 (等級) (16.2.1表)
		気密性種類 ※W-4 ・W-5 (等級) (16.2.1表)
	枠の見込寸法	※70,80又は100 (mm)
2.網戸	区 分	
	寸 法	
	適 用	※合成樹脂性
3.鋼製建具	鋼板厚さ	・1.6 (mm) (16.3.2表)
4.鋼製軽量建具	材 質	※鋼板製 ・ステンレス製 ・アルミニウム合金
5.ステンレス製建具	曲げ加工	※普通曲げ・角出し曲げ
6.自動扉	開閉方法	種 別
7.重量シャッター	種 類	・防火シャッター ・防煙シャッター
	開閉方式	※上部電動式(手動併用) (16.10.1表)
		上部手動式 (16.10.1表)
8.軽量シャッター	開閉方式	※手動式
9.木製建具	種 別	・A種 ※B種 ・C種 (16.6.1表)
	樹 種	(16.6.2表)
	フラッシュ戸の表面板厚	※4.0 ・5.5 (mm) (16.6.6表)
	マスターキー	・有(3組) ・無
⑩建具金物	種類	モノロック レバーハンドル ヒンチクローザー
		本締り付き ドアクローザー 表示付空錠
		シリンダー箱錠 ビボットヒンジ 丁 番
⑪ガラス	①型板ガラス	
	2)網入板ガラス	
	3)合わせガラス	種 別
	4)強化ガラス	種 類
	5)熱線吸収板ガラス	種類、色調
	6)複層ガラス	区分、材料
	ガラス留め材	9.5「シーリング」による (9.6.1表)
	パテの使用区分	
	(a)アルミニウム	(16.13.1表)
	(b)鋼製, ステンレス製	※1種
	(c)木 製	
12.オーバーヘッド	セクション材料による種類	(16.12.1表)
	ドア	・スチール ・アルミニウム ・ファイバーグラス
	開閉機能による種類	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式
⑬トイレブース	セクション材料による種類	
	メーカーリスト	トステム株式会社・不二硝子株式会社・YKK AP株式会社
		(記載は五十音順)

## 17. 塗 装 工 事

1.素地ごしらえ	木 部 ( A )	亜鉛メッキ ( )
	鉄 面	・A種 ・B種 ※C種 (18.2.2表)
	モルタル及びプラスター面	・A種 ※B種 (18.2.4表)
	コンクリート及びALC	・A種 ※B種 (18.2.5表)
	パネル面	
	石こうボード及びその他	・A種 ※B種 (18.2.7表)
	ボード面	
2.さび止め塗料	鉄 面	(18.3.1表)
	亜鉛メッキ面	B種 (18.3.2表)
3.合成樹脂調合	屋 外	・1種 ※2種
	屋 内	※1種 ・2種
	鉄 面	・A種 ※B種 (18.4.2表)
	亜鉛メッキ面	(18.4.3表)
4.合成樹脂エマル	・A種 ※B種	(18.13.1表)
	ジョンペイント	
5.模様塗料	アクアブルーフ40J	
6.多採塗料	鉄 面	※A種 ・B種
	亜鉛メッキ面	・A種 ※B種
7.塩化ビニール樹脂	・A種 ※B種	
	エナメル	

8.アクリル樹脂	・A種 ※B種	(18.8.1表)
	エナメル	
9.フタル酸樹脂	・A種 ※B種	
	エナメル	(木部、鉄面、亜鉛メッキ面) (18.6.1表) (18.6.2表)
10.塩化ゴム系	※有機質のエポキシジンクリッチペイント	
	エナメル	
11.オイルステイン+クリアッカー	木 部	・A種 ※B種 (18.5.1表)
12.ウレタン樹脂	木 部	・A種 ※B種 (18.15.1表)
	ワニス	
13.マスキック塗材	凸面処理仕上げ ( )	(18.17.1表)
	仕上材塗り	種類及適用

## 18. 内 装 工 事

材 種	色 柄	厚 さ (mm)	使用箇所
1.ビニール床シート	※	※2.8 ・3.0	便所
2.ビニール床タイル	※	※2.0 ・3.0	
3.ゴム系タイル	※	※3.0 ・5.0	
4.合成樹脂塗り床	ビニール巾木	高さ※60 厚さ※2 (mm)	
	塗 り 床	種類及び工程	
	弾性ウレタン	※平滑仕上げ (19.4.1表)	
	エポキシ樹脂	(19.4.2表)	
5.石こうボードその他	規 格		
	ボード及び合板張り		
	難燃合板	樹脂 ※生じのまま ・ラワン ・しな	
	特殊合板	樹脂 ※	
		厚さ ※0.3mm ・ そば包み	
6.フローリング張り	合板張付け	種別 ・A種 ※B種 (19.7.1表)	
	フローリングの適用		
	工法の適用		
	樹 種	※ぶな	
	厚 さ	※15 ・ 大きさ	
	種 別	・A種 ・B種 ※C種 (19.5.3表)	
	樹 脂	・ ※	
	厚 さ	※ 大きさ※	
⑦ビニルクロス張り	防火性能	級 別 S P 級	
	種 別	じゅらくクロス	
8.畳敷き	種 別	・A種 ※B種 (19.6.1表)	
9.じゅうたん敷き	品質検査		
	ウイルトンカーペット	・A種 ※B種 ・C種 (19.3.1表)	
	タフテッドカーペット	・A種 ※B種	
	ニードルパンチカーペット	厚さ※ (mm)	
	下敷き材	※黄麻フェルト厚さ8mm2回刺し	
⑩断熱材	種 類	・ 厚さ ・ (mm)	
	天井、ガラスウール	t=100 24Kg	
	床部、押出法ポリスチレンフォーム	t=20	
	外壁部、ガラスウール	t=100 24Kg	

## 19. 舗 装 工 事

1.しゃ断層材料	※川砂又は海砂
2.凍上抑制層材料	
3.盛土材料	
4.踏床土の支持力	※行わない ・行う ( )
	比試験
5.踏盤材料	種 別 ※クラッシュランRC-40又は (22.3.3表)
	クラッシュランスラグCS-40
6.加熱アスファルト	種 別 ( 蜜粒度アスファルト混合物(13) ) (22.4.6表)
	混合物

7.シールコート	・行わない ・行う ( )
8.コンクリート舗装	早強セメント ・使用しない ・使用する
9.コンクリート板	適 用 ( )
10.特殊舗装	カラー舗装の種類 ※加熱アスファルト混合物を用いる

## 20. 排 水 工 事

1.排水管	材 種	
	形 状	(20.2.1表)
	強 さ	
	排水ます及びふたの種類	
	地業の材料	

## 21. 植 栽 工 事

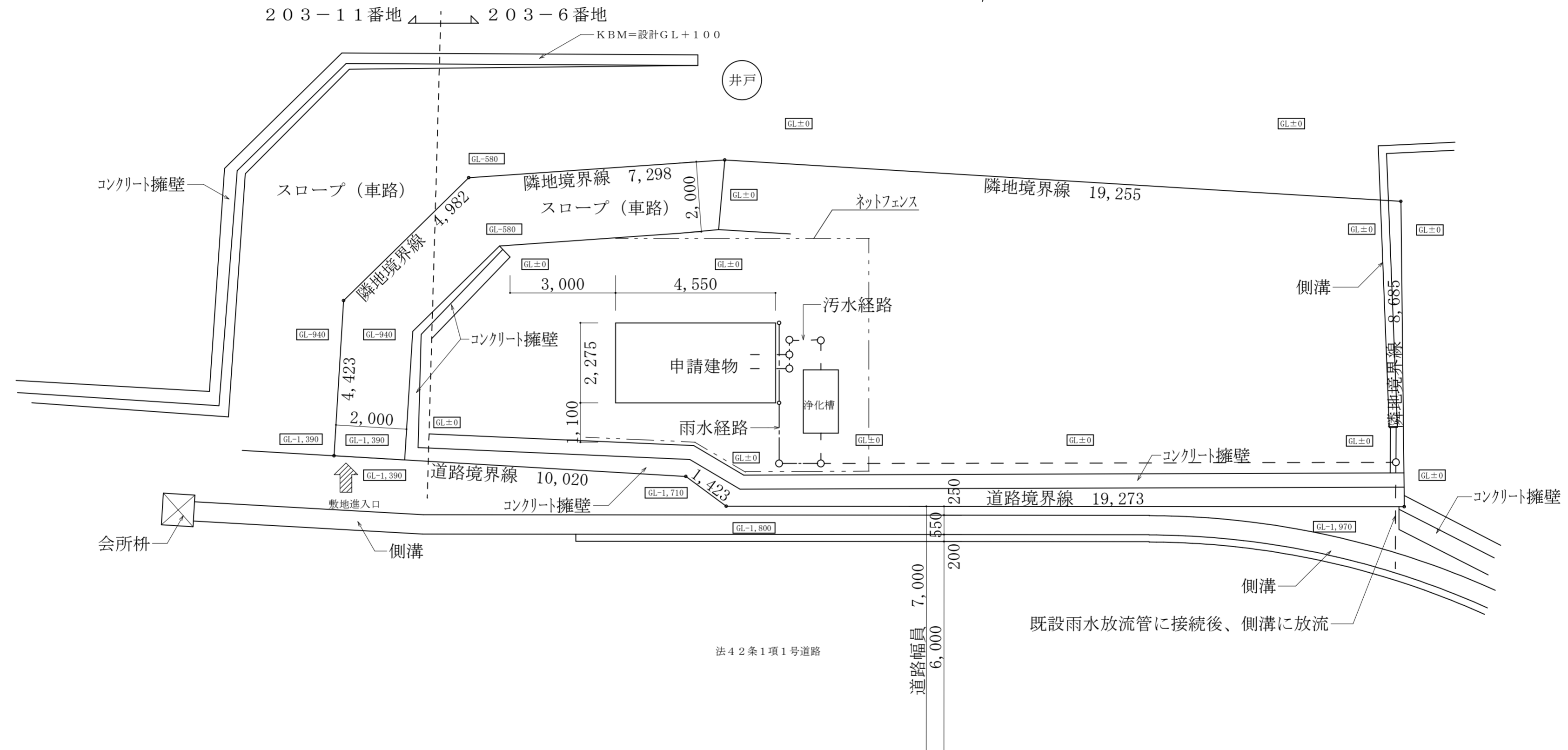
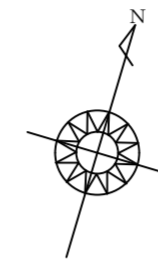
1.補償期間	1年
2.植栽	樹 木 名 高 さ 目通周 枝張り(葉張り)
3.芝張り	種 類 ※こうらい芝 ・野芝
	工 法 平 地 ※目地張り
	切り土のり面 ※べた張り
	盛り土のり面 ※筋芝張り
	客 土 ・行わない ・行う
4.低木	つつじ密植 H=300(客土)

## 22. 雑 工 事

1.コーナービート	材 種	※ステンレス製
2.階段滑り止め	形 状	寸法
	取付け	※埋込み工法
3. 鏡	種 類	厚さ ※5 (mm)
4.黒板	種 類	
5.貫通孔	スリーブの材種	※溶融亜鉛めっき鋼板
6.カーテンきれ地	品 質	※防火性能の認定品
	一般窓：東リ エコタッサー 又は同等品	1. 5倍ヒダ
	休憩スペース：東リ ニューエコビオラ 又は同等品	1. 5倍ヒダ
7.カーテンレール	材 種	アルミ製
	形 状	ダブル
8.ブラインド	材 種	
	形 状	※開閉はギヤー式
9.砂利敷き	種 別	通路 ※A種 ・B種
		建物周囲 ・A種 ※B種
10.コンクリート間知	種 類	
	ブロック	質量区分
11.敷地境界石標	種 別	※A種 ・B種
12. 棚	ボードラック (L800×D950×H2100)	
	棚板	5枚
13.点 検 口	天井点検口	※アルミニウム製(※額縁タイプ・目地タイプ) 450角
	床点検口	※アルミニウム製・ステンレス製 600角
⑭室名札等	大建プラスチック又は同等品	
⑮点字誘導ブロック	300×300×7	
⑯屋外手摺	LIXIL 手摺-トレールUD フロントバーA2段(ステンレス支柱)又は同等品以上	

特 記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	建築工事特記仕様書 [ 2 ]					訂正年月日	種別
	縮 尺							

# J R 佐那具駅

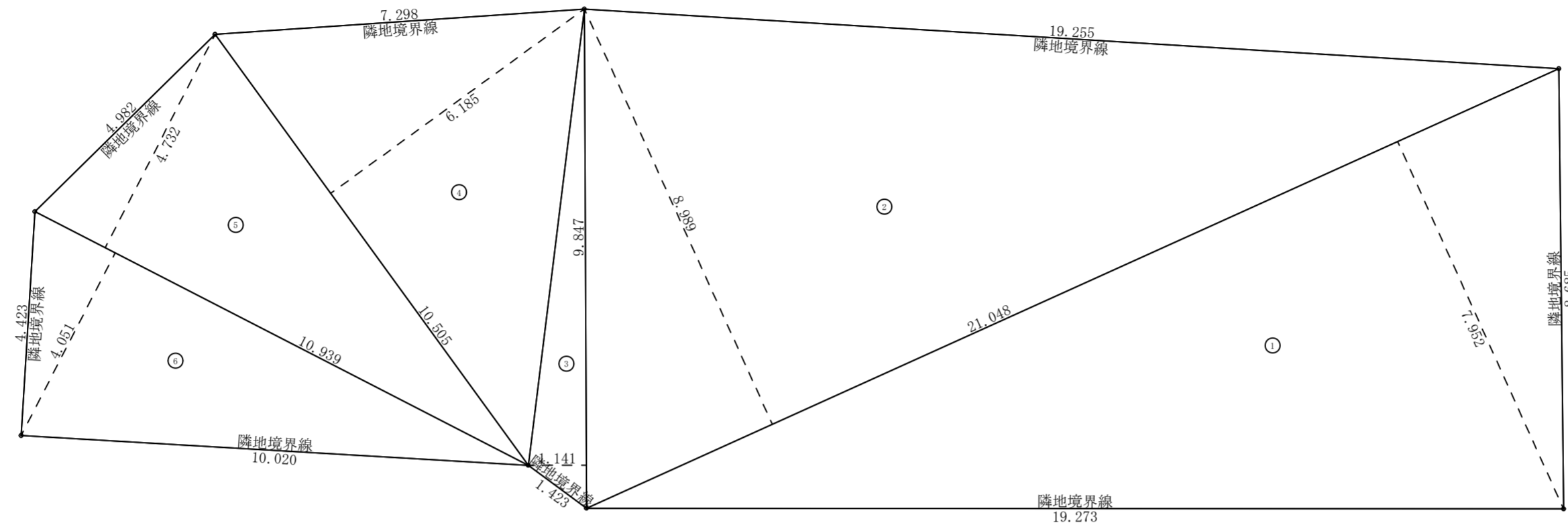


< 共通仮設工事 >

-----: ネットフェンスH=1,800

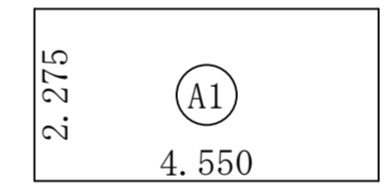
※交通誘導警備員は必要に応じ  
適宜配置とする

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	配置図及仮設計画図						A-3
	縮尺	S=1:100					訂正年月日	種別



敷地面積求積図 S=1:100

敷地面積			
	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (㎡)
①	21.048	7.952	167.373696
②	21.048	8.989	189.200472
③	9.847	1.141	11.235427
④	10.505	6.185	64.973425
⑤	10.939	4.732	51.763348
⑥	10.939	4.051	44.313889
倍面積 計			528.860257
敷地面積 (㎡)			264.43



建築面積・床面積求積図 S=1:100

建築面積・床面積表			
	形状	計算式	面積
①	矩形	4.550×2.275	10.351250
面積 計(㎡)			10.35

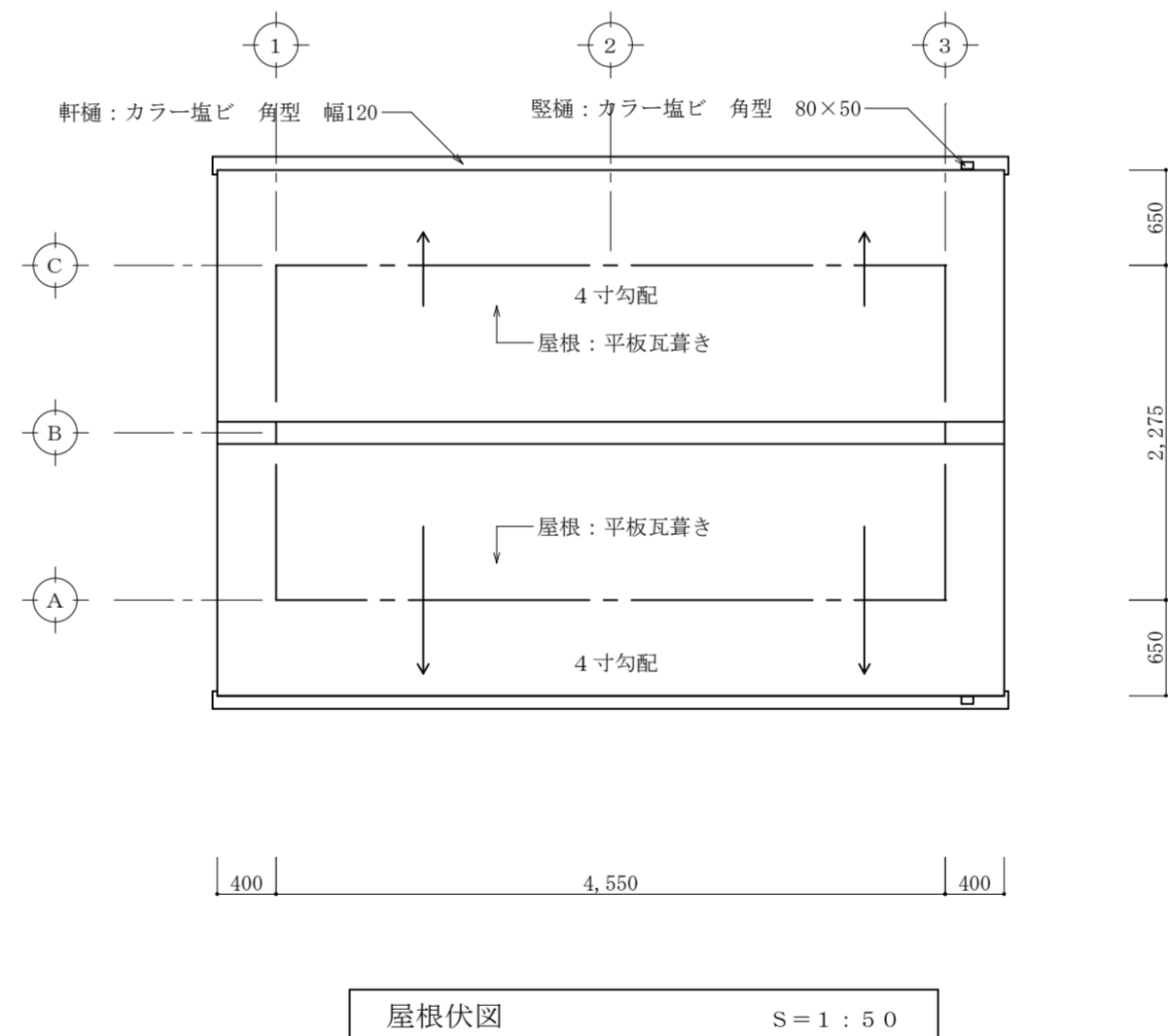
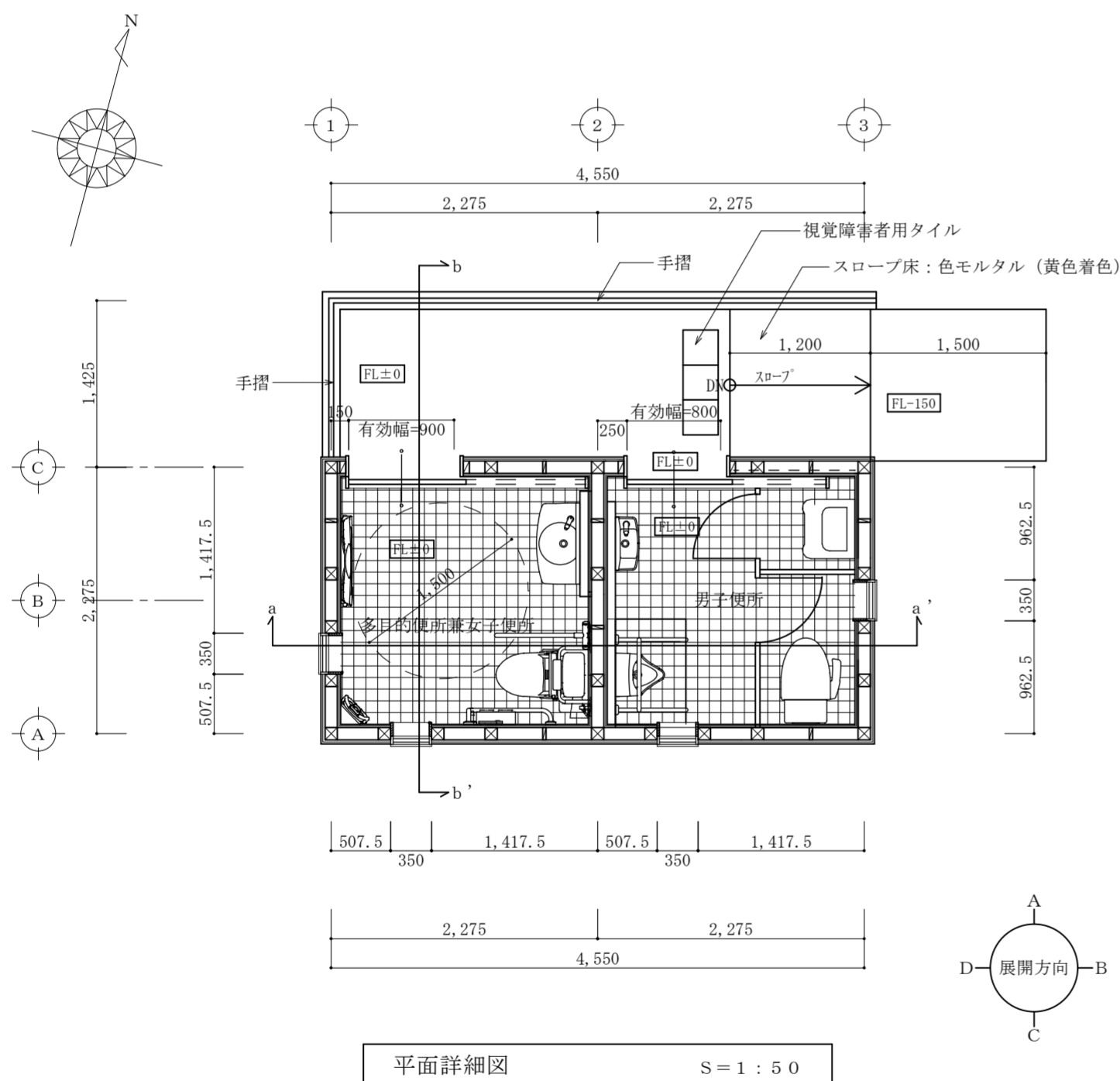
特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	面積表					訂正年月日	A-4
	縮尺	S=1:100					種別	

外部仕上表 ※仕上仕様については特記仕様書を参照する。

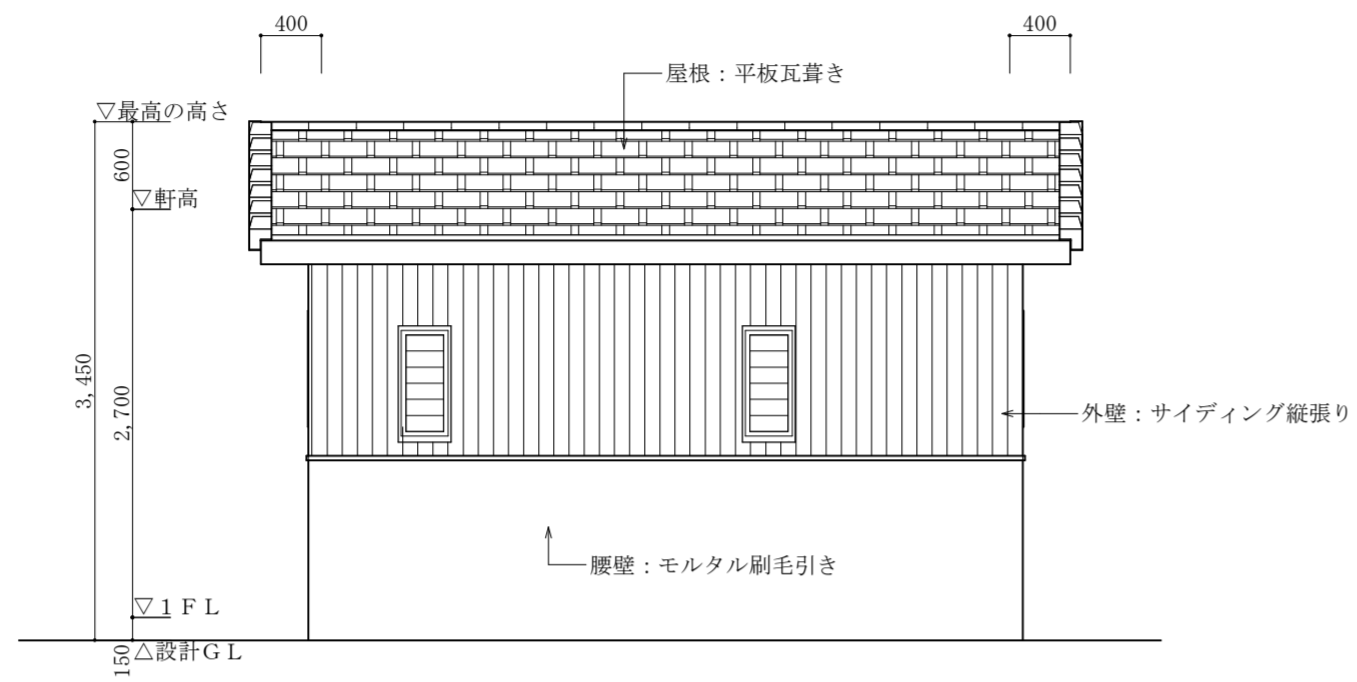
屋根	平板瓦葺き・アスファルトルーフィング 化粧野地板：杉板 t=12 目透し張り 化粧垂木：45×60@303	軒天	化粧野地板：杉板 t=12 目透し張り 木材保護塗料塗り 化粧垂木：45×60@303 木材保護塗料塗り	スロープ	床	モルタル金コテ押え（斜路部分 黄色着色）
外壁	金属系サイディング t=18 縦張り 横胴縁 15×45@450 透湿防水シート t=0.15 構造用合板 t=9	樋	軒樋：カラー塩ビ 角型 幅120 縦樋：カラー塩ビ 角型 80×50		立上り	モルタル刷毛引き
水切り	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4	建具	アルミサッシ アルミハンガードア		手摺	ステンレス支柱、2段手摺 ABS樹脂製
腰壁	モルタル刷毛引き					

内部仕上表 ※壁体内には全てグラスウールt=100を充填すること。

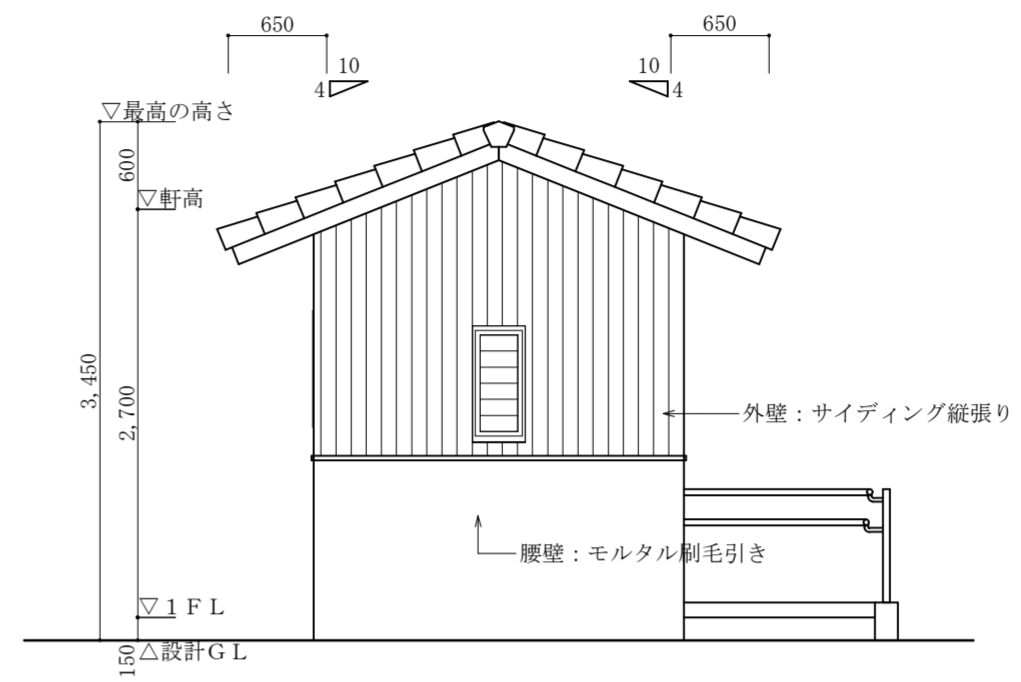
室名	床	腰壁	壁	天井	天井回り縁	備考
多目的兼女子便所	磁器質100角タイル張り 下地モルタル	陶器質100角タイル張り 下地モルタル	せつこうボード t=12.5 じゅらくクロス張り	杉板 t=12 目透し張り 木材保護塗料塗り	杉	
男子便所	磁器質100角タイル張り 下地モルタル	陶器質100角タイル張り 下地モルタル	せつこうボード t=12.5 じゅらくクロス張り	杉板 t=12 目透し張り 木材保護塗料塗り	杉	



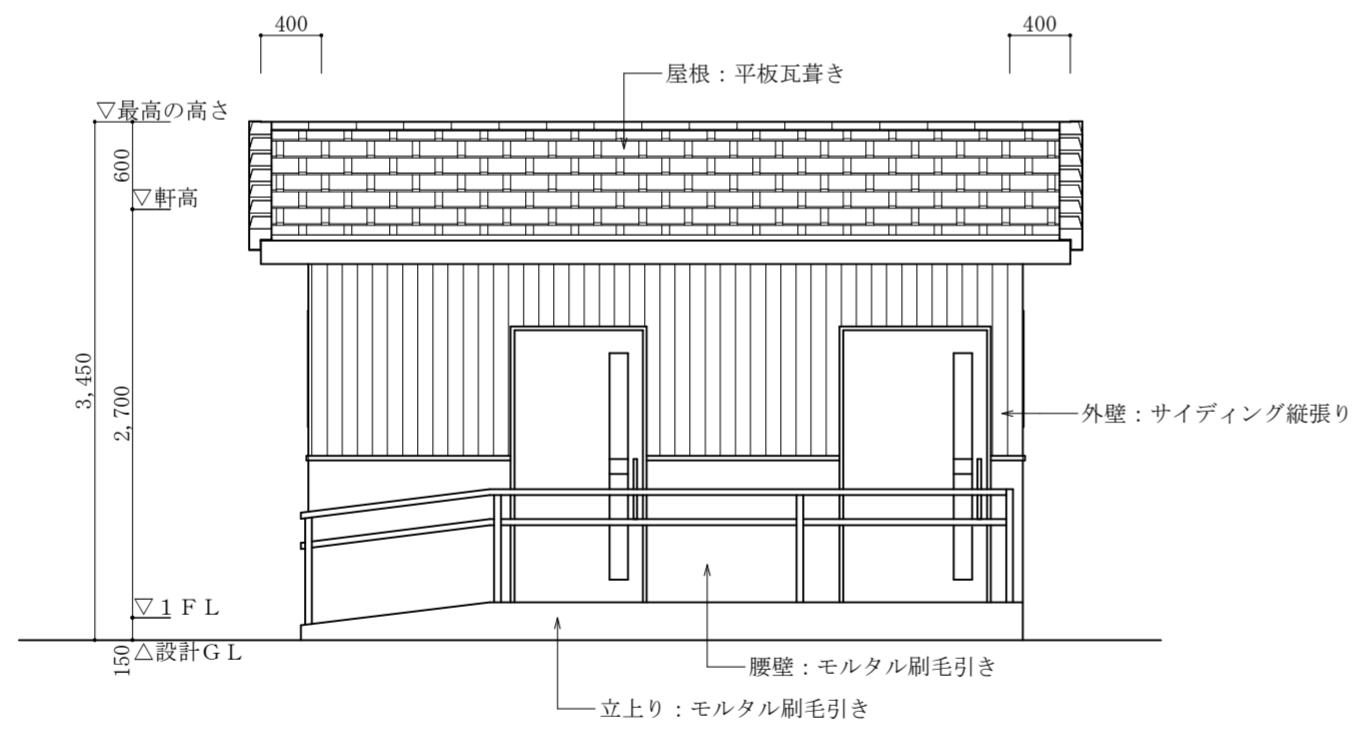
特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	外部仕上表・内部仕上表・平面詳細図・屋根伏図					訂正年月日	A-5
	縮尺	S=1:50						種別



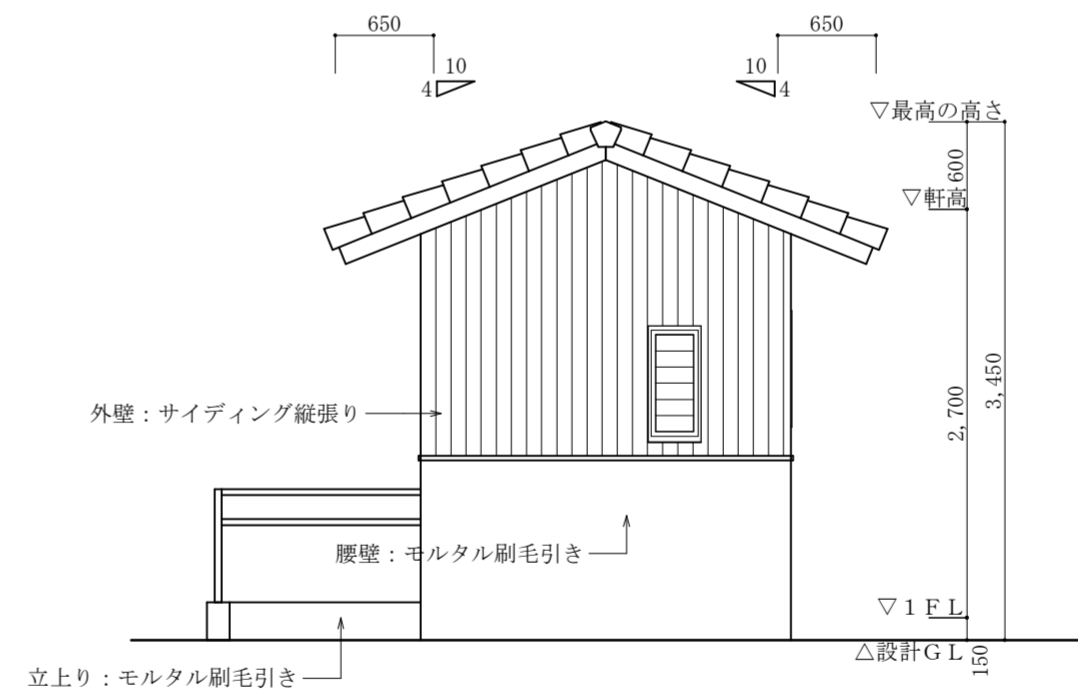
南立面図 S = 1 : 50



東立面図 S = 1 : 50

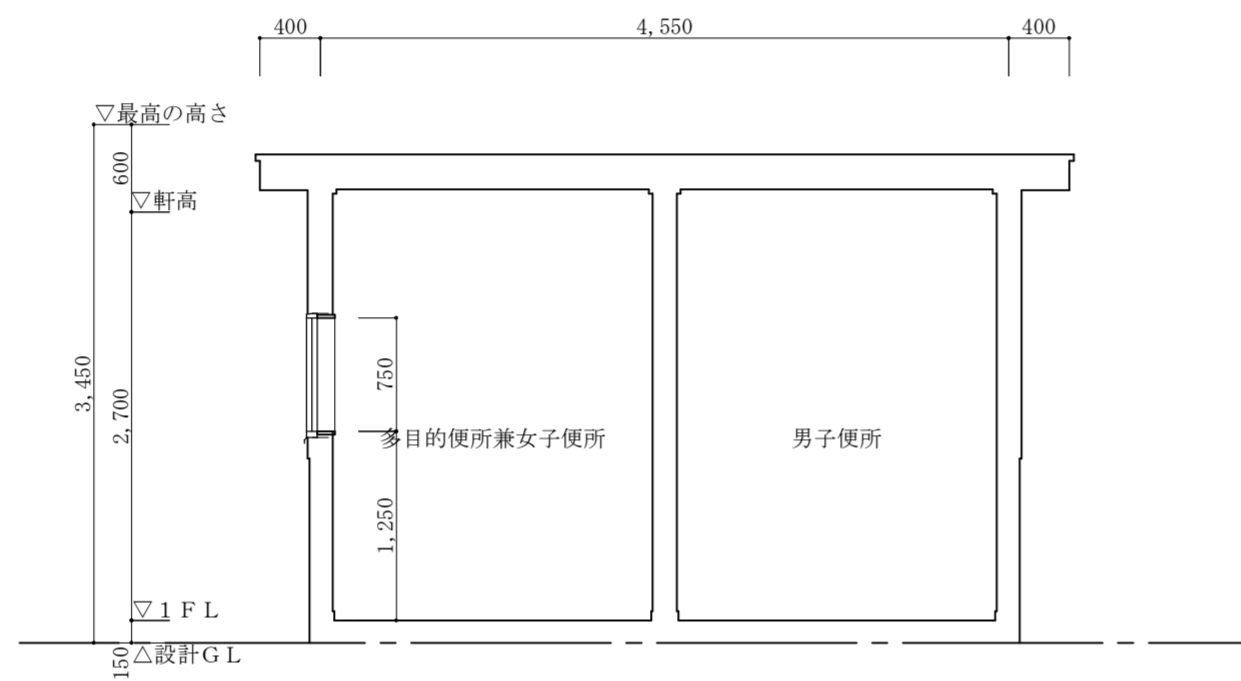


北立面図 S = 1 : 50

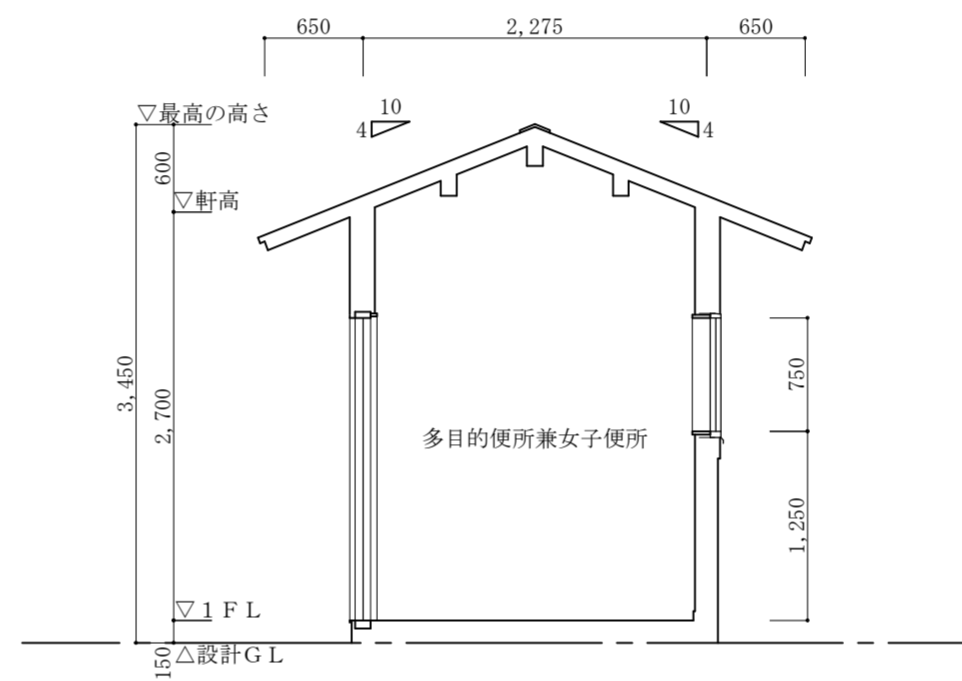


東立面図 S = 1 : 50

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	立面図						A-6
	縮尺	S = 1 : 50					訂正年月日	種別



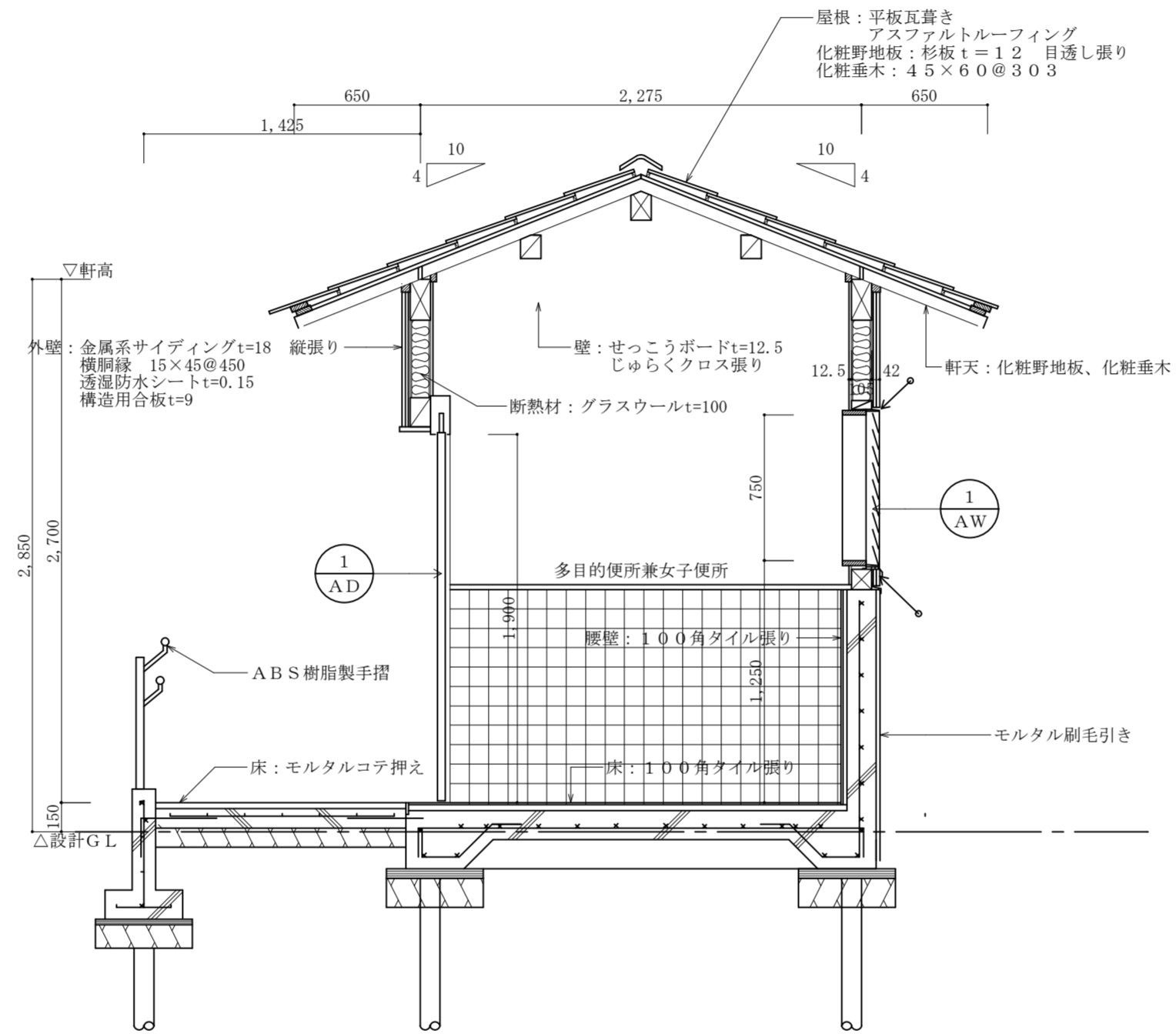
a - a' 断面図 S = 1 : 50



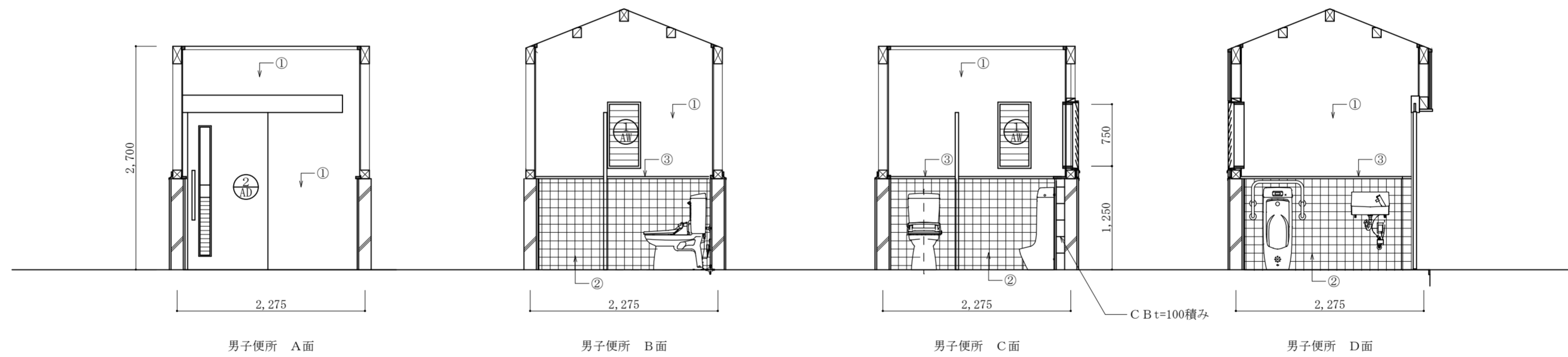
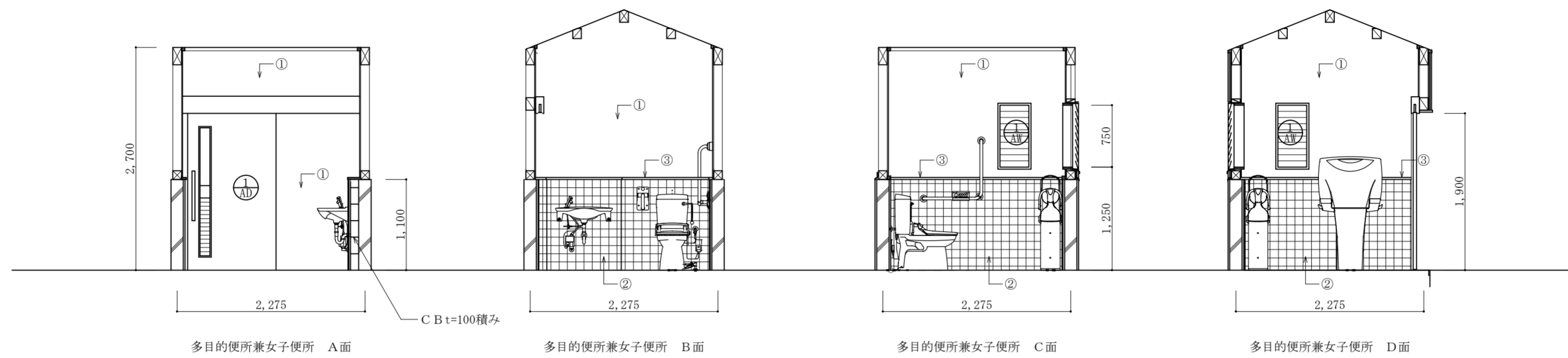
b - b 断面図 S = 1 : 50

特 記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	断面図						A-7
	縮 尺	S = 1 : 50					訂正年月日	種別



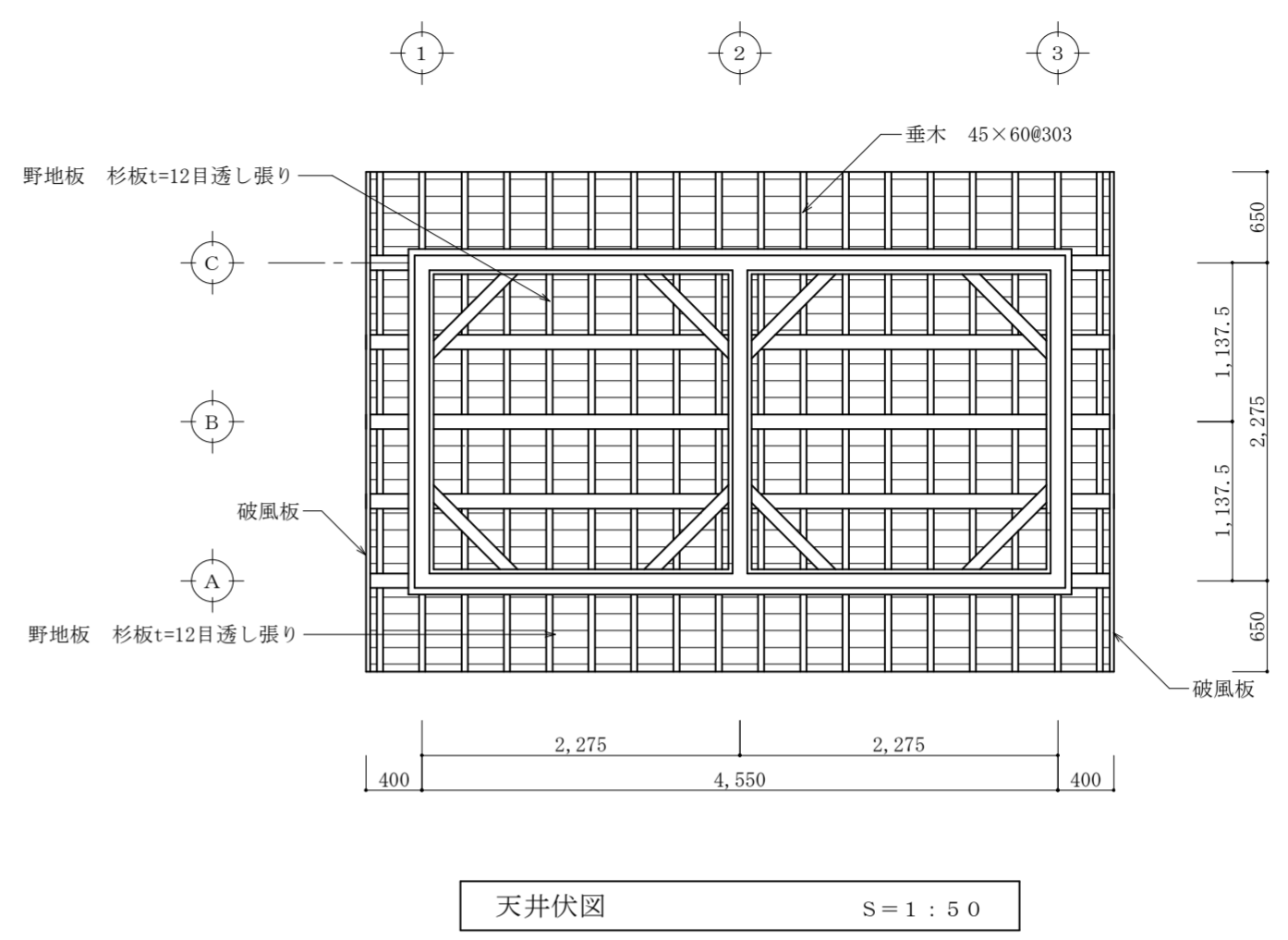
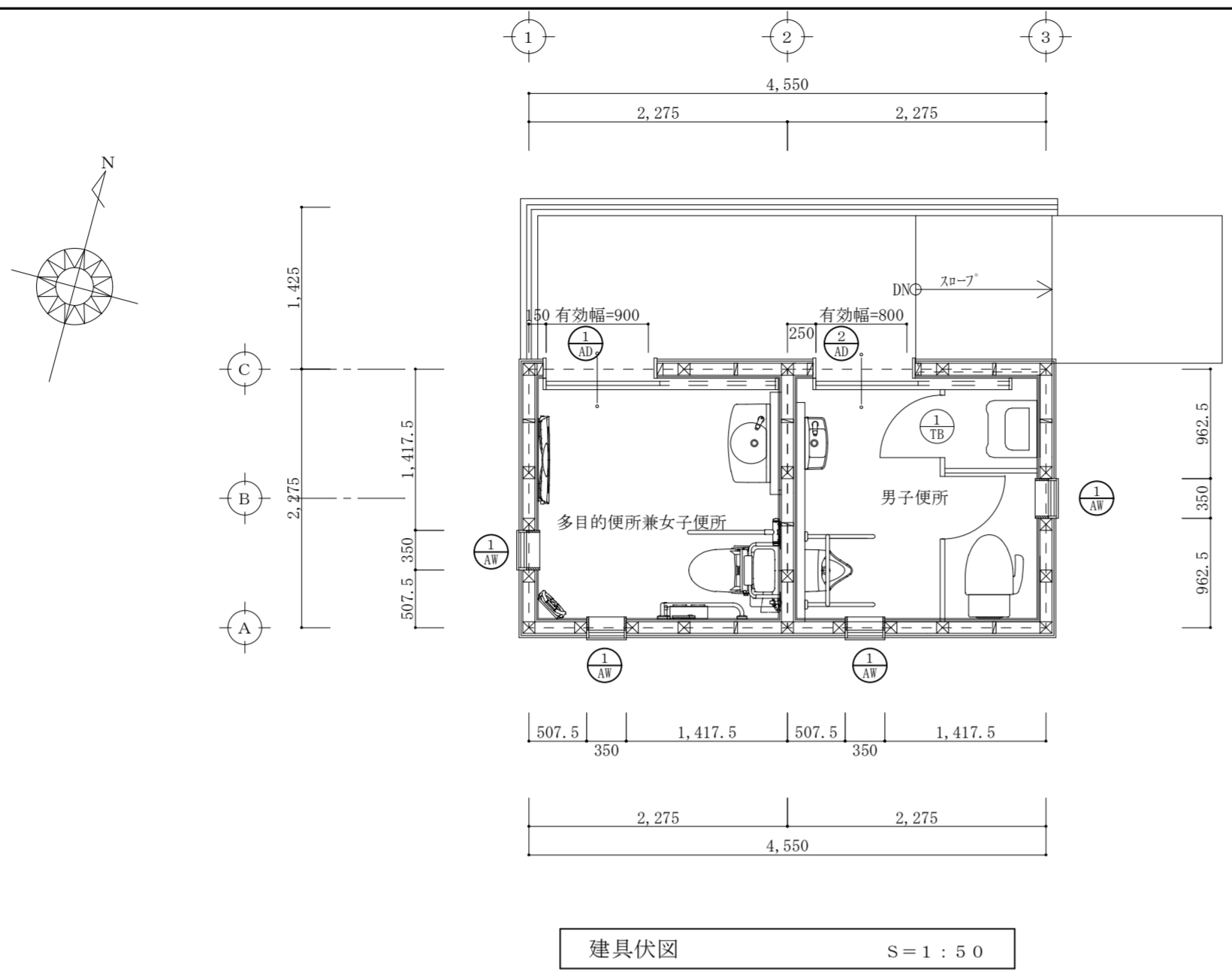


特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	矩計図					訂正年月日	A-8
	縮尺	S=1:30						種別



- 凡例
- ① せっこうボード t=12.5 じゅらくクロス張り
  - ② 陶器質100角タイルタイル張り
  - ③ 壁見切り 杉 40×40 木材保護塗料塗り

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	展開図					訂正年月日	種別
	縮尺	S=1:50						



建 具 表		1 AW	4	1 AD	1	2 AD	1	1 TB	1
姿 図									
型 式		ガラスルーバー窓 (半外付け)		ハンガー引戸		ハンガー引戸		トイレブース	
仕 上		アルミ		アルミ		アルミ		メラミン化粧合板 t=40	
見 込		70		100		100			
ガラス		型板ガラス t=4		型板ガラス t=4		型板ガラス t=4			
金 物				ナイロン樹脂引手・非常解放機能付表示錠		ナイロン樹脂引手・非常解放機能付表示錠		戸当り帽子掛け・非常解放機能付表示錠	
備 考				シリンダー錠・アルミガラリ・外部三方枠		シリンダー錠・アルミガラリ・外部三方枠		アルミ笠木・足金物	

特 記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	建具伏図・建具表・天井伏図					訂正年月日	A-10
	縮 尺	S=1:50						種別

# 木造建築特記仕様書

a 工事名称 b 建設場所 c 工期 d 主要用途 e 構造 f 規模	<p style="text-align: center;"><b>1 工事概要</b></p> 佐那具駅前トイレ新築工事 伊賀市 外山 地内 着工 平成 年 月 日 竣工 平成 年 月 日 公衆用便所 木造 平屋建 (申請部分) (申請以外の部分) (合計) 敷地面積 <span style="float: right;">㎡</span> 建築面積 10.35 ㎡ <span style="float: right;">㎡ 10.35 ㎡</span> 延床面積 10.35 ㎡ <span style="float: right;">㎡ 10.35 ㎡</span>
a 適用基準 b 疑義 c 設計図書等の優先順位 d 施工 e 試験・検査 f 提出書類	<p style="text-align: center;"><b>2 一般共通事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本特記仕様書の適用は、○印のあるものとする。</li> <li>○ 本特記仕様書に記載のない事項は、平成28年度 公共建築工事標準仕様書</li> <li>○ 設計図書に明記が無い場合でも、本工事完成上当然必要な工事は契約内にて施工するものとする。</li> <li>○ 設計図書の内容に相違のある場合、明記の無い場合、その他疑問を生じた場合は遮断処理せず、監理者と協議の上施工すること。</li> <li>○ 設計図書等の優先順位は次の通りとするが、大きな相違がある場合は監理者と協議して決定する。                      1) 疑義回答書      2) 本特記仕様書      3) 設計図面                      4) 内訳明細書      5) 共通仕様書 (住宅金融支援機構木造住宅工事共通仕様書)</li> <li>○ 施工にあたっては共通仕様書、各材料メーカーの仕様書、施工計画書、施工図、承認図に基づいて施工すること。</li> <li>○ 本工事の各種試験、検査は別紙事務処理要領に基づいて行い、報告書を提出する。</li> <li>○ 立ち会いの要否は監理者の指示に従う。</li> <li>○ 着手前に別紙事務処理要領に基づいてメーカー選定通知書、サンプル、施工図等提出し、監理者の承認を得ること。</li> <li>○ 施工上の許認可届け等は施工者が行う。</li> <li>○ 竣工図 製本A2版2部 A3版2部</li> <li>○ 完成写真 外観4面 各室内2カット以上 (アルバム製本の上提出すること。)</li> </ul>
a 看板、表示板 b 足場、保護設備 c GL、BMの決定 d 障害物の処理 e 片付、清掃	<p style="text-align: center;"><b>3 仮設工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工事現場には工事名称、発注者などを示す表示板を設け、大きさ、書体、材質、位置等は監理者と協議して決定する。</li> <li>○ 設計図書、関係法令に基づき、作業者、付近住民、隣接建物、工作物、通行人に対して被害を出さぬように配慮する。提示された保護設備では不十分な場合は追加処置を施す。その場合の費用負担は監理者と協議して決定する。</li> <li>○ 設置する足場、棧橋の類は別契約の関係請負者に無償で使用させること。</li> <li>○ 設計GL、BMは監理者立ち会の上決定すること。</li> <li>○ 施工上撤去、移設を要する軽微なものは契約内にて処理する。</li> <li>○ 完成時敷地及び敷地周囲とも原況に復旧し清掃すること。</li> <li>○ 建物クリーニングは専門業者によるクリーニングを基本とする。</li> <li>○ 現場事務所(10㎡程度)を設置すること。(位置は監督員と協議の上決定とする。)</li> <li>○ 工事用水・電力は構内既存施設を利用できることとする。(有償)</li> </ul>
a 根切り b 埋戻し c 残土処分 d 玉石、砂利地業 e 地盤改良 f 防湿シート g 配筋 h アンカーボルト i 床下換気口 j コンクリート材料 k 調合 l 試験 m 型枠材	<p style="text-align: center;"><b>4 基礎工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 根切り完了後監理者の立ち会いを求め、承認を得ること。</li> <li>○ 埋戻しは：<input checked="" type="radio"/> 根切り土使用・搬入山土・砕石・その他( )とする。</li> <li>○ 残土処分は：<input type="radio"/> 場外処分・場内推積 <input checked="" type="radio"/> 場内敷き均し・その他( )とする。</li> <li>○ 材料の種類：<input type="radio"/> 玉石 <input type="radio"/> 割石 <input type="radio"/> 砂利 <input checked="" type="radio"/> 砕石(RC-40)</li> <li>○ 材料の規格：<input type="radio"/> ( ) m/m</li> <li>○ 工法：<input checked="" type="radio"/> ランマー突き・振動コンパクター締め <input type="radio"/> 振動ローラー締め</li> <li>○ 改良材：<input type="radio"/> ラップルコンクリート <input type="radio"/> 砕石 <input type="radio"/> その他( )</li> <li>○ 材料：<input type="radio"/> ポリエチレンシート <input type="radio"/> その他( )</li> <li>○ 厚さ：<input type="radio"/> 0.15m/m <input type="radio"/> その他( )</li> <li>○ 鉄筋材はJIS規格品とする。SD295A</li> <li>○ 基礎を貫通して設ける配管用スリーブは、鉄筋補強する。</li> <li>○ Zマーク表示品又はこれと同等以上のものとし、筋かいの下部、土台継手、それ以外は1.82m以内に埋設する。                      ・外周部の布基礎には、間隔4m内外に床下換気口200*350を設ける。</li> <li>○ 着手前にコンクリート配合計画書を提出し、監理者の承認を得ること。</li> <li>○ コンクリート材はJIS表示許可工場で製造されたレディーミクストコンクリートとする。</li> <li>○ 鉄筋コンクリート <input type="radio"/> 18N/mm<sup>2</sup> <input checked="" type="radio"/> 21N/mm<sup>2</sup> (+温度補正值)</li> <li>○ 土間コンクリート <input type="radio"/> 15N/mm<sup>2</sup> <input checked="" type="radio"/> 18N/mm<sup>2</sup></li> <li>○ 温度補正、スランプ、水セメント比等は、監理者の指示により決定する。</li> <li>○ 試験練り <input checked="" type="radio"/> スランプ <input checked="" type="radio"/> 空気量 <input checked="" type="radio"/> 塩化物量試験 <input checked="" type="radio"/> 強度試験</li> <li>○ 合板パネル <input checked="" type="radio"/> 金属パネル <input type="radio"/> 緑甲板 <input type="radio"/> その他( )</li> </ul>

a 材料 b 金物 c 防腐、防虫処理	<p style="text-align: center;"><b>5 木工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 使用木材、新材はJAS、JIS規格品とする。</li> <li>○ 構造下地材種：<input checked="" type="radio"/> 桧 <input checked="" type="radio"/> 杉 <input checked="" type="radio"/> 米松・米ヒバ・米桐・その他( )</li> <li>○ 和室造作材種：<input type="radio"/> 桧 <input type="radio"/> 杉・スプルス・米ヒバ・その他( )</li> <li>○ 和室造作材等級：<input type="radio"/> 無節・上小節・小節・一等</li> <li>○ 一般造作材種：<input type="radio"/> スプルス・ホワイトアッシュ・タモ・ビークラ・アガチス <input checked="" type="radio"/> その他(杉)</li> <li>※ 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を監督員に提出すること。</li> <li>※ 本工事に使用する木材は、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」の優先利用に努めること。</li> <li>※ 本工事においては、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき、性能、品質、数量、価格等について考慮し、優先的に認定製品を使用すること。入手困難な場合等においては監督員と協議すること。</li> <li>○ 金物はZマーク表示品又はこれと同等以上のものとする。</li> <li>○ GL+1000以下の構造下地材には、ガードラック同等品を塗布すること。</li> </ul>
a 材料	<p style="text-align: center;"><b>6 屋根工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平板瓦葺き</li> <li>○ 横葺き</li> </ul>
a 材料及び表面処理 b 葺工法 c 裏張材	<p style="text-align: center;"><b>7 板金工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種使用材はJIS規格品とする。</li> <li>○ ステンレス( )mm：<input type="radio"/> 原板・ヘアライン・カラー塗装</li> <li>○ アルミ( )mm：<input type="radio"/> アルマイト処理・カラー塗装</li> <li>○ 銅板( )mm：<input type="radio"/> 原板・緑青・硫化いぶし</li> <li>○ 鉄板( )mm：<input checked="" type="radio"/> GLカラー塗装・GLフッ素・その他( )mm</li> <li>○ こけら葺・立はげ葺・瓦棒葺・波板葺・折板葺・横葺・その他( )</li> <li>○ 発泡ウレタン・ガラス繊維・その他( )</li> </ul>
a 材料 b 工法	<p style="text-align: center;"><b>8 サイディング工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニチハ ST型センターストライプUPプレミアム t=18 又は同等品</li> <li>○ 中空セメント板・ノンアスベスト板・硬質木片セメント板 <input checked="" type="radio"/> 金属板・その他( )</li> <li>○ ステンレスビス止め・ステンレス釘打・金具止・その他( )</li> </ul>
a 材料 b 仕上	<p style="text-align: center;"><b>9 石工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種使用材はJIS規格品とし、詳細は仕上表指示による。</li> <li>○ 大理石・みかげ石・砂岩・テラゾ・その他( )</li> <li>○ 本磨き・水磨き・ジェットパーラー・小叩き・その他( )</li> </ul>
a 材料 b 工法	<p style="text-align: center;"><b>10 タイル工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種使用材はJIS規格品とし、詳細は仕上表指示による。</li> <li>○ 磁器質・半磁器質・せつ器質・陶器質・土器質・その他( )</li> <li>○ 圧着工法・積上工法・乾式工法 <input checked="" type="radio"/> その他(接着工法)</li> </ul>
a 材料 b 仕上	<p style="text-align: center;"><b>11 左官工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ モルタル・プラスター・漆喰・砂壁・じゅ楽・リシン・テラゾ・その他( )</li> <li>○ 金コテ・刷毛引き・スタッコ・掻落し・洗出し・研出し・その他( )</li> </ul>
a アルミ建具 b 木製建具 c 金物 d 網戸 e ガラス	<p style="text-align: center;"><b>12 建具工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 規格(住宅用・ビル用) <input checked="" type="radio"/> カラー( )</li> <li>○ 使用木材、新材はJAS規格品とし、種類は建具表指示による。</li> <li>○ 建具金物はJIS規格品とし、種類は建具表指示による。</li> <li>○ 網の種類：<input type="radio"/> サランネット・ステンレスネット・グラスファイバー</li> <li>○ ガラス材はJIS規格品とし、種類は建具表指示による。</li> </ul>
a 材料	<p style="text-align: center;"><b>13 塗装工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 塗料はJIS規格品とし、種類は仕上表指示による。</li> </ul>
a 材料	<p style="text-align: center;"><b>14 内装工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内装材はJIS、JAS規格品とし、種類は仕上表指示による。</li> </ul>
a 一般事項 b 材料	<p style="text-align: center;"><b>15 雑工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 厨房器機、浴槽、洗面ユニット、郵便受、避難器具等を対象とする。</li> <li>○ 各種使用材はJIS規格品とし、種類は設計図指示による。</li> <li>○ ビクトサイン 300×300                      基板：アクリル板 厚1.0mm                      カッティングシート貼</li> </ul>
a 一般事項 b 材料 c 施工	<p style="text-align: center;"><b>16 植栽工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構内の建物に付随する植栽を対象とする。</li> <li>○ 材種は植栽設計図指示による。</li> <li>○ 植栽業者の責任施工とし、植付後1年間は補償期間とする。</li> </ul>

特記 ----- ----- -----	工事名称 <b>佐那具駅前トイレ新築工事</b> 図面名称 木造建築特記仕様書 縮尺	承認 検図 設計 製図	作図年月日 訂正年月日	図面番号 A-11 種別
-------------------------------	--	----------------------	----------------	--------------------

# 小口径先端翼付き鋼管杭回転工法特記仕様書

## 1. 工事概要

本工法は小口径先端翼付き鋼管杭を回転貫入させ、所定の支持地盤にて支持力を発現させる工法である。  
 本工事では(財)日本建築総合試験所 建築技能性能証明工法とする。  
 (G B R C 性能証明 第10-01号)

## 2. 特記概要

- 1、本工事の施工業者は、DM (ダブルマトリ)工法の施工技術に精通したものとす。
- 2、軸径、拡翼径、貫入深度、本数、配置等は設計図による。
- 3、鋼管材料はSTK400 (同等以上)とする。
- 4、施工は拡翼の回転時に発生する推進力と、必要に応じて圧入力を加えて貫入させる事。
- 5、打止めは地盤調査結果を照らし、回転トルクを確認した後、打止めとする。

## 3. 一般事項

### 1、拡翼付鋼管杭数量表

鋼管杭径 (mm)	鋼管杭厚さ (mm)	拡翼径 (mm)	拡翼厚さ (mm)	施工長 (m)	セット
101.6	4.0	350	12	3.00	9

### 2、工事に先立ち、施工計画書を提出する。

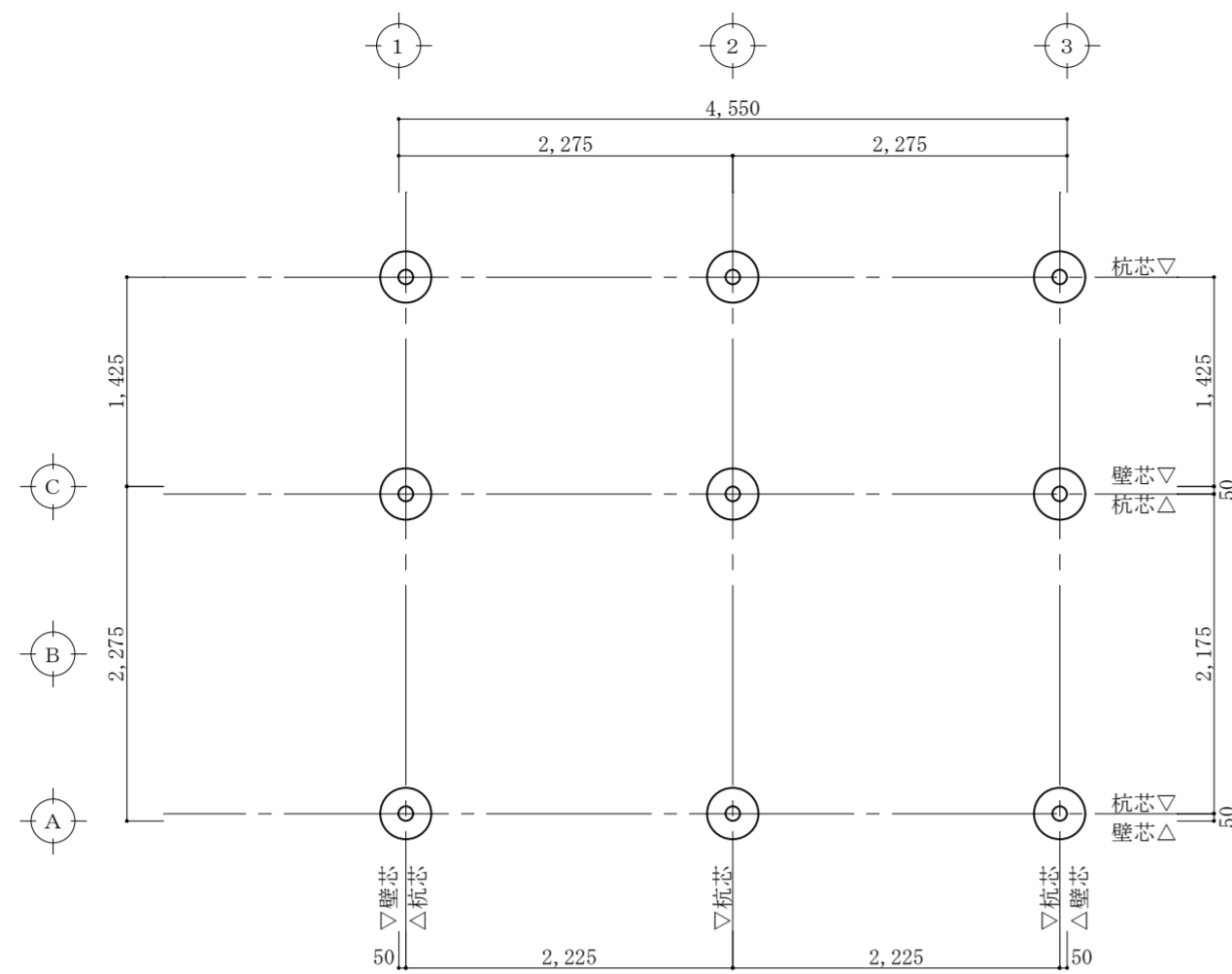
施工計画書は次の事項を明示する。

- ①工事概要 (軸径・拡翼径・貫入深度・本数)
- ②施工方法
- ③施工機械 施工データを記録できる装置 (施工管理計測器) を装備したもので、自走式とする。
- ④施工記録
- ⑤安全管理

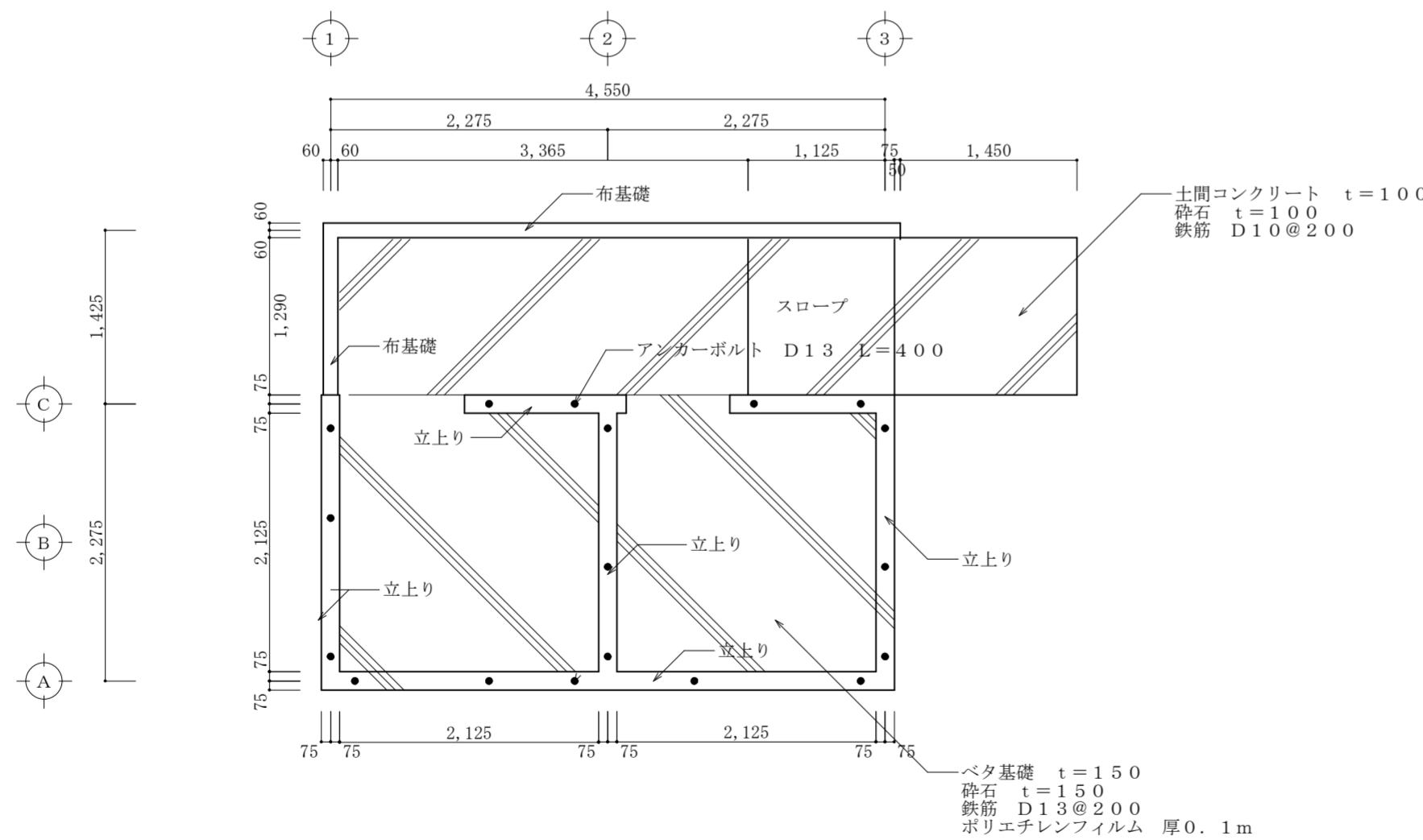
## 4. 報告

工事後、次の事項について報告書をまとめ、2部を監督員にすみやかに提出する。

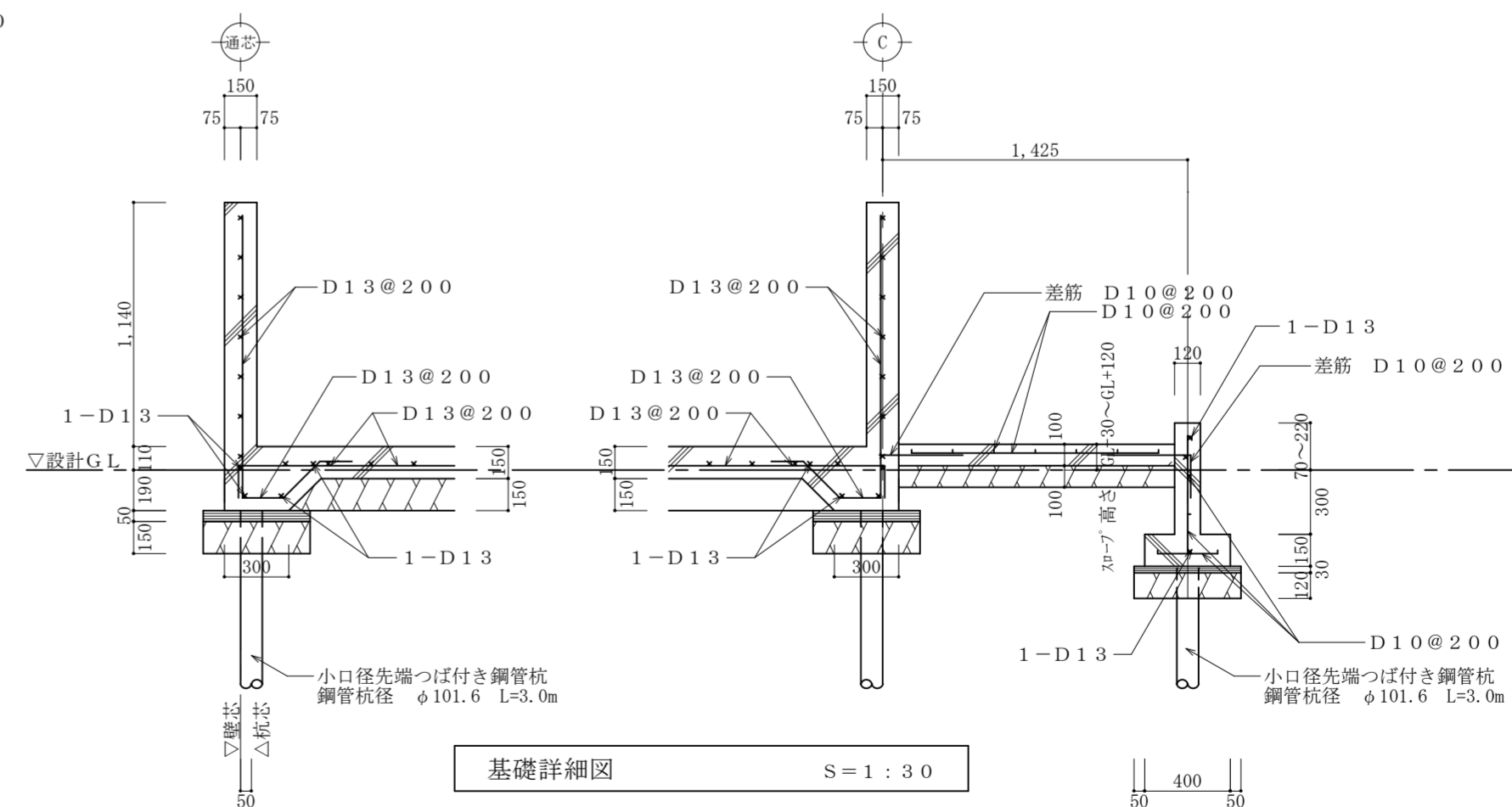
- ①施工伏図及び施工番号
- ②施工日
- ③貫入深度及び高止まり量
- ④最終トルク値
- ⑤施工データ
- ⑥工事写真



杭伏図 S = 1 : 50

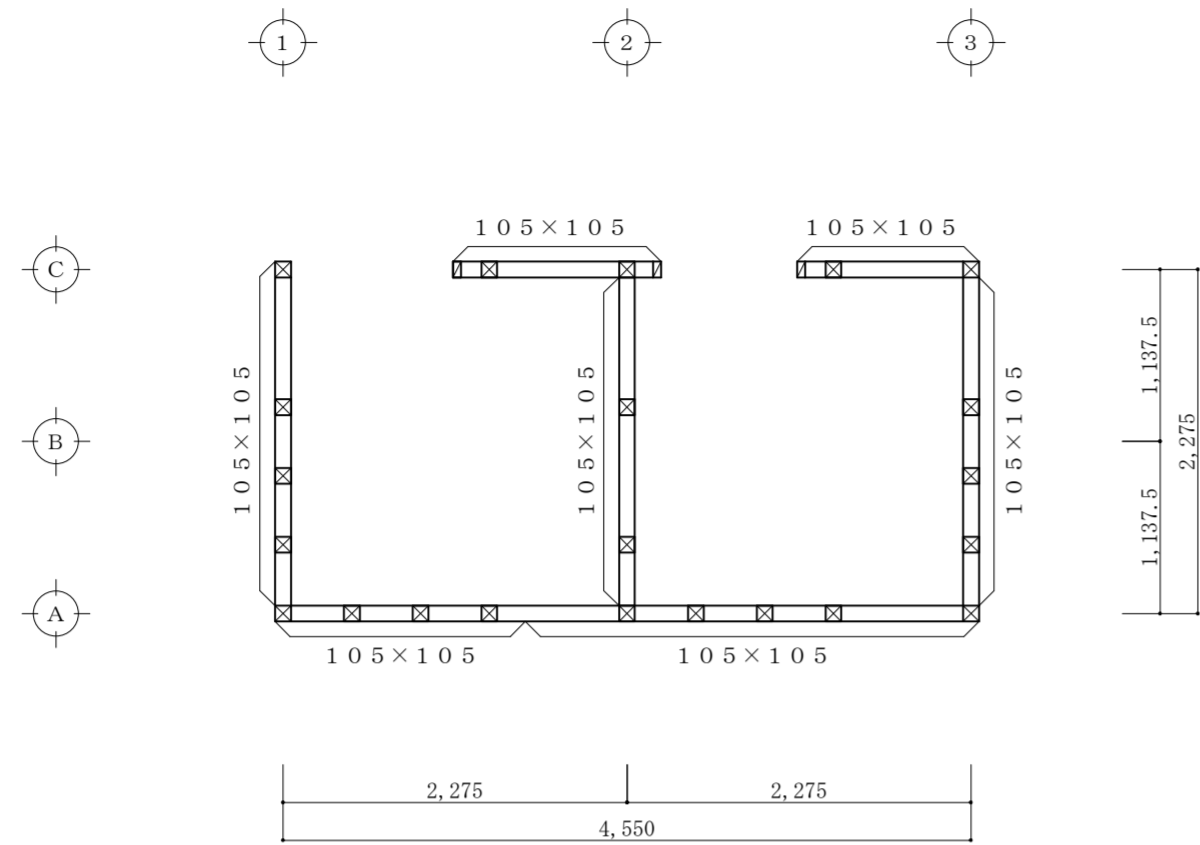


基礎伏図 S = 1 : 50

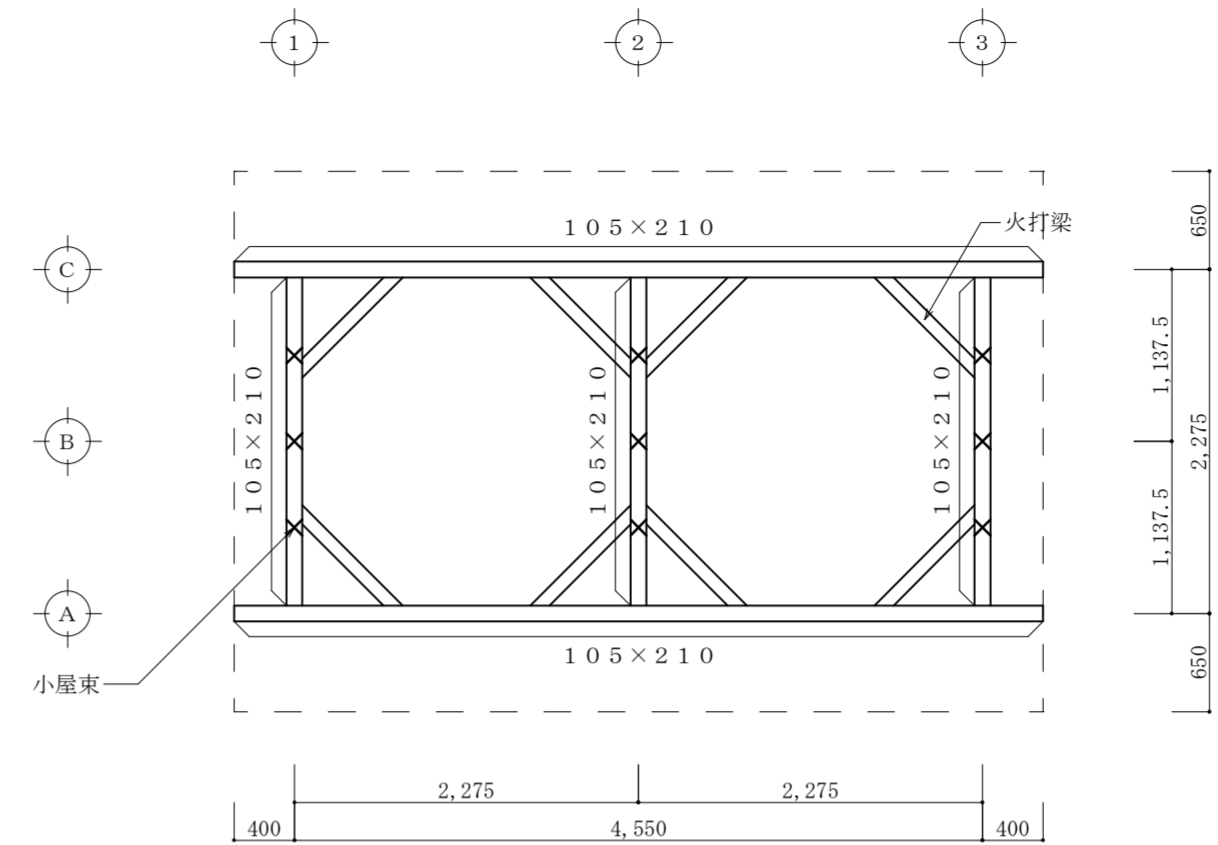


基礎詳細図 S = 1 : 30

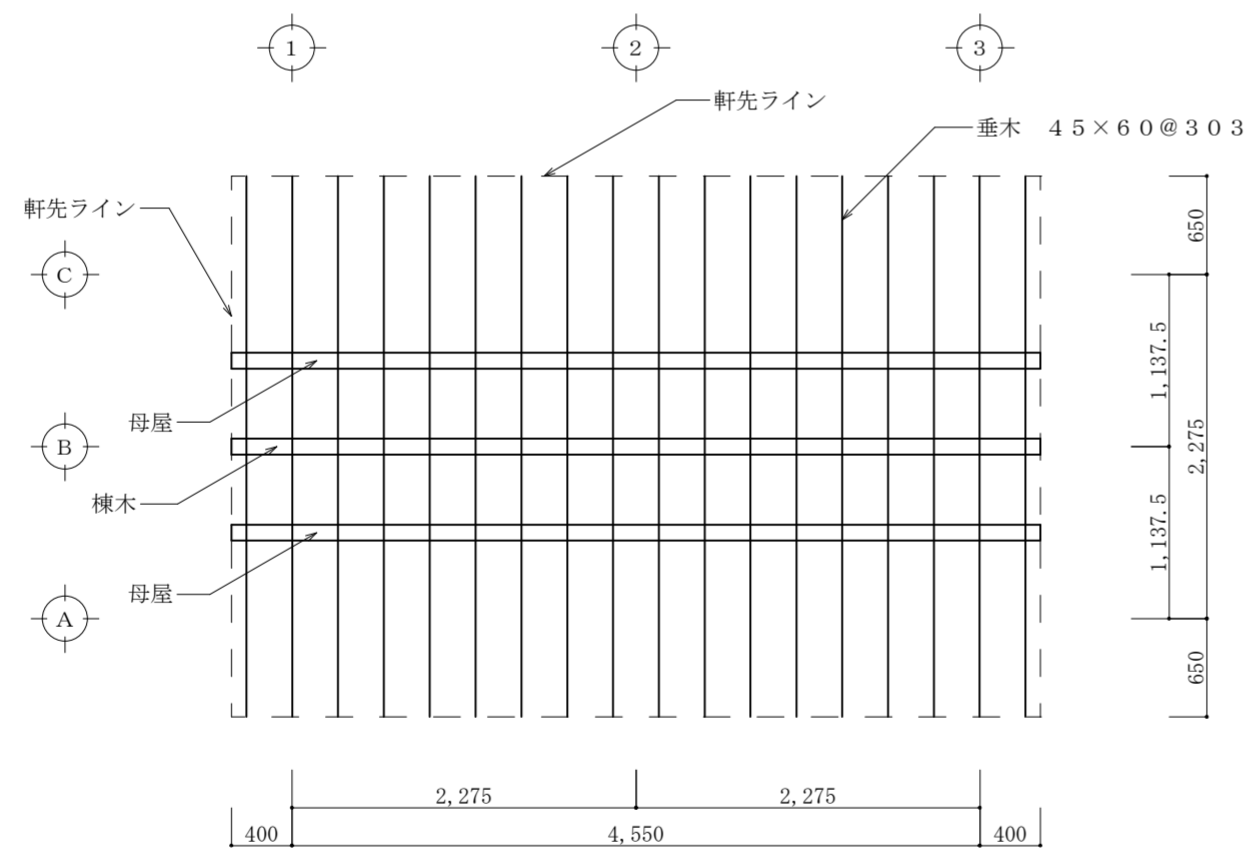
特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	基礎伏図・基礎詳細図・杭伏図・杭特記仕様書					訂正年月日	A-12
	縮尺	S = 1 : 50, 30						種別



土台伏図 S=1:50



梁伏図 S=1:50



梁伏図 S=1:50

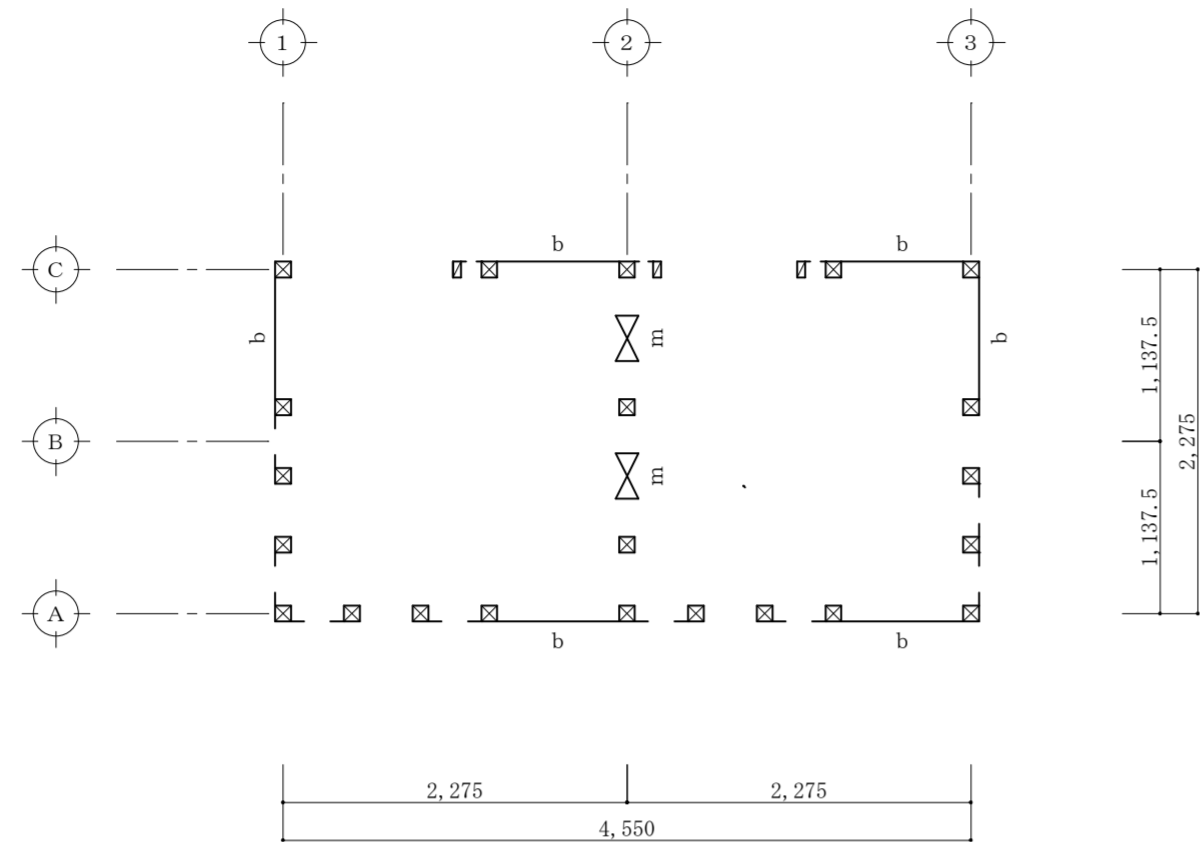
◎ 木材リスト

柱	桧 特一等	105×105
間柱	桧 特一等	60×105
土台	桧 特一等	105×105
梁・桁	米松 (KD材)	105×210
火打梁	米松 (KD材)	90×90
小屋束	米松 (KD材)	105×105
母屋	米松 (KD材)	105×120@910
棟木	米松 (KD材)	105×150
垂木	米松 (KD材)	45×60@303

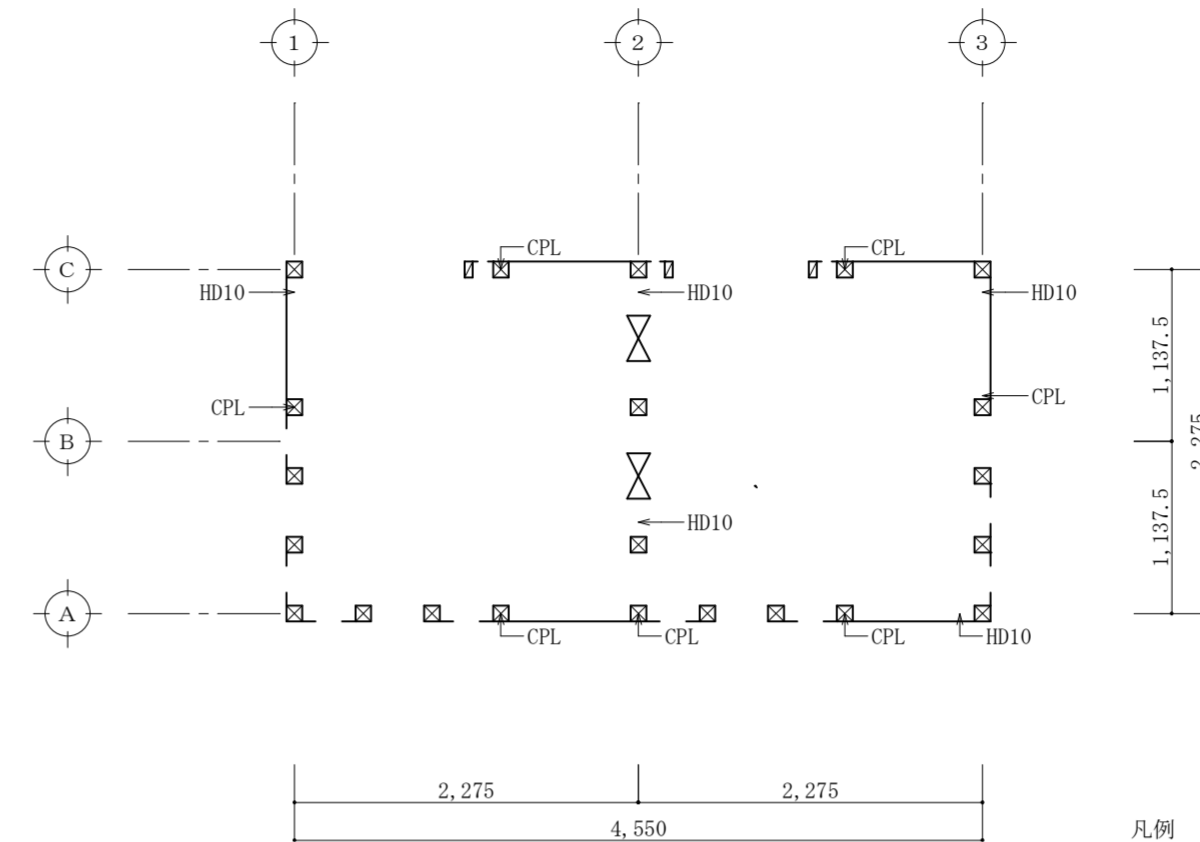
凡例

- ☒
- 
- ×

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	土台伏図・梁伏図					訂正年月日	A-13
	縮尺	S=1:50					種別	

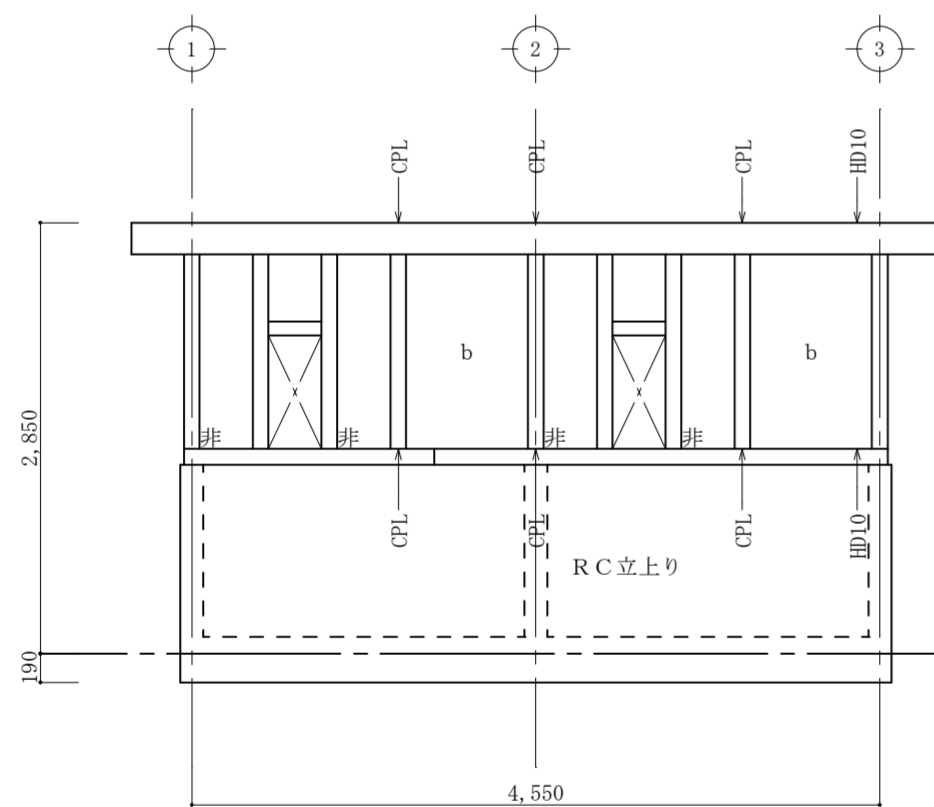


耐力壁配置図 S=1:50

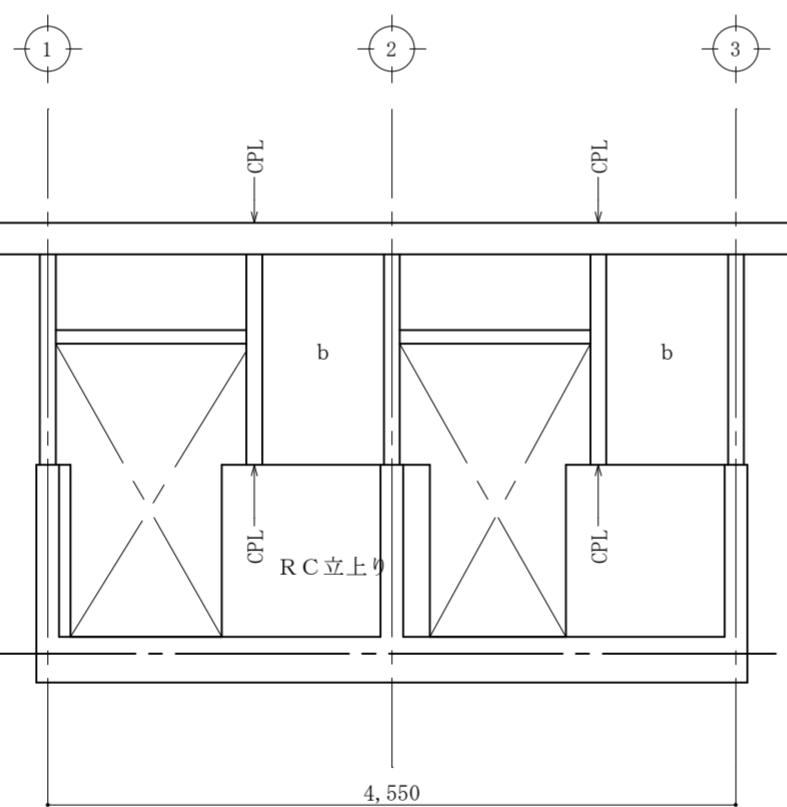


柱の接合金物配置図 S=1:50

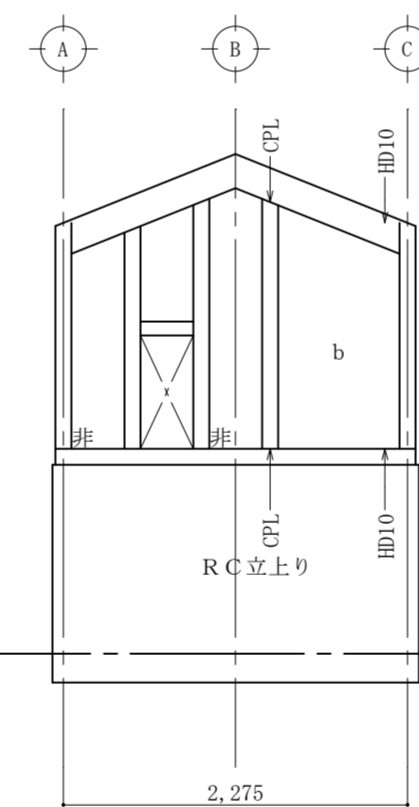
- 凡例
- b : 構造用合板 t=9  
釘打ち方法 N50@150以下 (S56建告1100)
  - m : 筋違い 90×45
  - 非 : 構造用合板 t=9 (非耐力壁)  
釘打ち方法 N50@200
  - 使用金物は軸組工法金物 (Zマーク表示金物) と同等品とする
  - 記入なき柱は、短ほぞ差し、かすがい止め とする



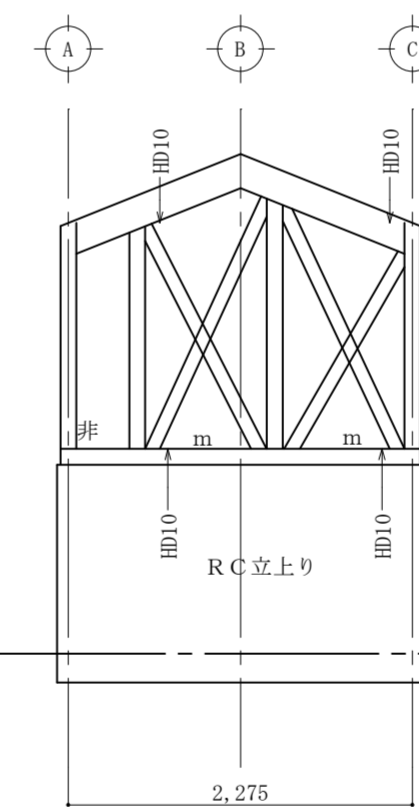
A通り軸組図 S=1:50



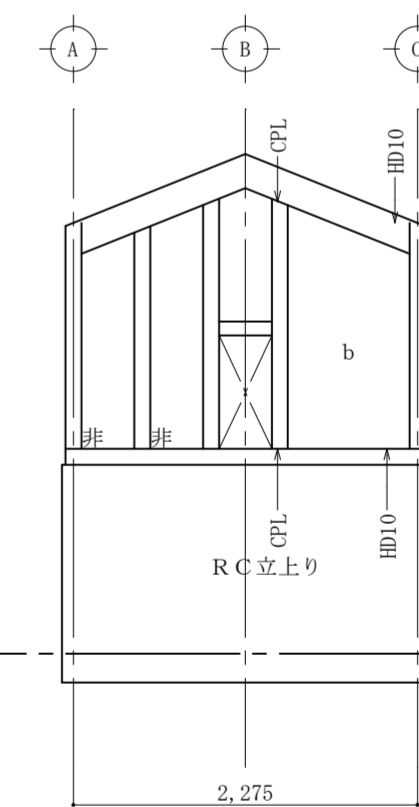
B通り軸組図 S=1:50



1通り軸組図 S=1:50



2通り軸組図 S=1:50



3通り軸組図 S=1:50

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	耐力壁配置図・柱の接合金物配置図・軸組図					訂正年月日	A-14
	縮尺	S=1:50						種別

電気設備工事特記仕様書

I 工事名称 佐那具駅前トイレ新築工事  
 II 工事場所 三重県伊賀市外山 地内

建物名称	構造	延面積 (㎡)	消法令の適用	備考
駅前トイレ	木造 1階建て	10.35	(15)項	

項目	特記事項
① 施行基準	<p>図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)</li> <li>*公共建築設備工事標準図 平成28年版」(電気設備工事編・機械設備工事編)</li> <li>*公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版」(電気設備工事編・機械設備工事編)</li> <li>*「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」平成28年版</li> <li>*国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」</li> <li>*電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準)</li> <li>*電力会社供給約款</li> <li>*消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む)</li> <li>*電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法</li> <li>*その他関連法規、関連諸基準</li> </ul> <p>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。</p> <p>設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。</p> <p>なお設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。</p> <p>他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。</p>
② 一般事項	
③ 施工計画等	<p>受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*総合施工計画書</li> </ul> <p>なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。</p>
④ 工事使用材料等	<p>工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*使用機材届出書(メーカーリスト)</li> <li>*機器明細図</li> <li>*カタログ・製作図・その他諸資料</li> </ul> <p>なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー(参考)及び国土交通省大臣官庁官庁監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿(最新版)又はこれらと同等以上のものとする。</p> <p>また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。</p>
⑤ 工程表	<p>関連業者間にて十分協議し実施工程表を作成して監督員に提出すること。</p> <p>なお実施工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。</p> <p>又、工程については、学校運営に支障が無いよう検討すること。</p>
⑥ 工事写真	<p>国土交通大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第3版)ー建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。</p> <p>なおCDの提出部数は「電子納品」を参照</p> <p>*代表写真(不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等)を抽出しL判相当サイズで印刷。(A4版用紙に両面印刷にて3枚/ページ) 1部</p>
⑦ 完成写真	<p>主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、L判相当サイズで印刷する。(A4版用紙に3枚/ページ) 1部</p> <p>撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。</p>
⑧ 完成書類	<p>工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。</p> <p>書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真</li> <li>*製本図面(竣工図):図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。</li> </ul> <p>竣工図は、原因サイズを2部。</p> <p>白焼き(青焼き不可)で文字潰れないこと。表紙(可能な範囲で背表紙にも)に「年度、工事名、竣工図、受注者名」を印字(シール不可)すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*引渡目録、工事書類預り書</li> <li>*工事書類(工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等)</li> <li>*工事書類(打合記録、工事材料搬入報告)</li> <li>*完成図書(試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等)</li> <li>*官公署手続き書類等(検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等)</li> <li>*その他監督員の指示する書類</li> </ul> <p>ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。</p> <p>なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。</p>
⑨ 完成確認、完成検査時の電源確保	<p>機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。</p>

項目	特記事項
① 足場	<p>設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行占用足場方式により行うこと。</p>
② 施工条件	<p>監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。</p>
③ 事故の発生時	<p>工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。</p>
④ 養生材の処理等	<p>引き渡しを要するもの( )</p> <p>上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。</p> <p>特別管理産業廃棄物 □変圧器 □コンデンサ □その他( )</p> <p>処理方法 ■現場内の監督員の指定する場所へ保管</p> <p>なお施工に際して、PCB等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を見出した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。</p> <p>発注者へ引き渡すものについては「現場発生日調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(マニフェスト原本の提示及び、E票の写しと集計表を監督員に提出すること)</p> <p>□構内敷きならし □構外搬出(片道運搬距離 約 k m)</p>
⑤ 残土処分	
⑥ 電子納品	<p>工事完成図書は、竣工図・施工図のCADデータ(JWW)及びPDFを格納。</p>
⑦ 諸手続	<p>工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。</p>
⑧ 消防提出書類	<p>消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成(電気設備図面の用意及び電気設備に関する部分の記述)を行うこと。</p> <p>本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。</p>
⑨ 既設との取合い	
⑩ 既設設備の調査	<p>既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に十分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。</p>
⑪ 工事中の保安管理	<p>新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。</p>
⑫ 不当介入を受けた場合の措置	<p>暴力団員等による不当介入(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)を受けた場合の措置について</p> <p>(1)受注者は暴力団員等(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(2)(1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。</p> <p>(3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p>
⑬ 耐震基準	<p>耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設総合耐震計画基準及び同解説平成8年版」(建設大臣官庁官庁官庁監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修)による。</p> <p>(1)局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度(Ks)</p> <p>(2)地域係数は1.0とする。</p> <p>(3)自重が100kg以下の比較的軽量な機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)の取付については、取付下地を入念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。</p> <p>(4)配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。</p> <p>(5)機器の耐震計算書を提出すること。</p> <p>重量1kN(100kg)以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。</p>

項目	特記事項
④ 施工	<p>(1)塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定色で2回塗りとする。</li> <li>・金属管、2種金属繊維、吊りボルト、支持具等鋼板製(SUS、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く)は原則として塗装を施すこと。</li> </ul> <p>(2)行先表示等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。</li> </ul> <p>(3)セパレータ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。</li> </ul> <p>(4)保護キャップ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レスウェイ等のタクトクリップが、人が容易に近づける場所、高さ(おおよそ2m以下)にある場合は保護キャップを取り付けること。</li> </ul> <p>(5)躯体を貫通する場合、鉄筋探査機等を使用し鉄筋を切断しないよう施工すること。</p> <p>(6)地中埋設配管には、埋設表示杖・シートを布設すること。</p> <p>(7)防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。</p>
⑤ その他	<p>(1)使用機械</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。</li> </ul> <p>(2)測定機器の校正記録</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。</li> <li>(3)設計図書に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。</li> </ul>

工事範囲	
● 幹線設備	<p>工事範囲 <input type="checkbox"/> 配管 <input checked="" type="checkbox"/> 配線 <input checked="" type="checkbox"/> 機器取付 <input checked="" type="checkbox"/> 引込 <input checked="" type="checkbox"/> 引込み工事負担金 <input type="checkbox"/> 警報設備</p> <p>電気方式 <input type="checkbox"/> 3φ3W 210 V 60Hz <input checked="" type="checkbox"/> 1φ3W 210/105 V 60Hz</p> <p>盤類形式 <input type="checkbox"/> 埋込み型 <input checked="" type="checkbox"/> 露出型 <input type="checkbox"/> 民間仕様</p> <p>その他 <input type="checkbox"/> 警報設備 <input type="checkbox"/> 動力設備</p>
● 電灯コンセント設備	<p>工事範囲 <input type="checkbox"/> 配管 <input checked="" type="checkbox"/> 配線 <input type="checkbox"/> 機器取付</p> <p>配線器具 <input type="checkbox"/> 特別なものを除き大角型とする</p> <p>プレート <input type="checkbox"/> 新金属 <input type="checkbox"/> ステンレス <input type="checkbox"/> フルカラー( )</p> <p>照明器具 <input checked="" type="checkbox"/> 何れも省電力型を優先とする。 <input type="checkbox"/> バイブ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>照度測定 <input type="checkbox"/> 行う(各居室 3ポイント) <input type="checkbox"/> 行わない</p>
● 呼出装置設備	<p>工事範囲 <input checked="" type="checkbox"/> 配管 <input checked="" type="checkbox"/> 配線 <input checked="" type="checkbox"/> 機器取付 <input type="checkbox"/></p> <p>制御方式 <input type="checkbox"/> 警報盤 <input type="checkbox"/> 遠方操作盤 <input checked="" type="checkbox"/> 現場盤による操作</p>

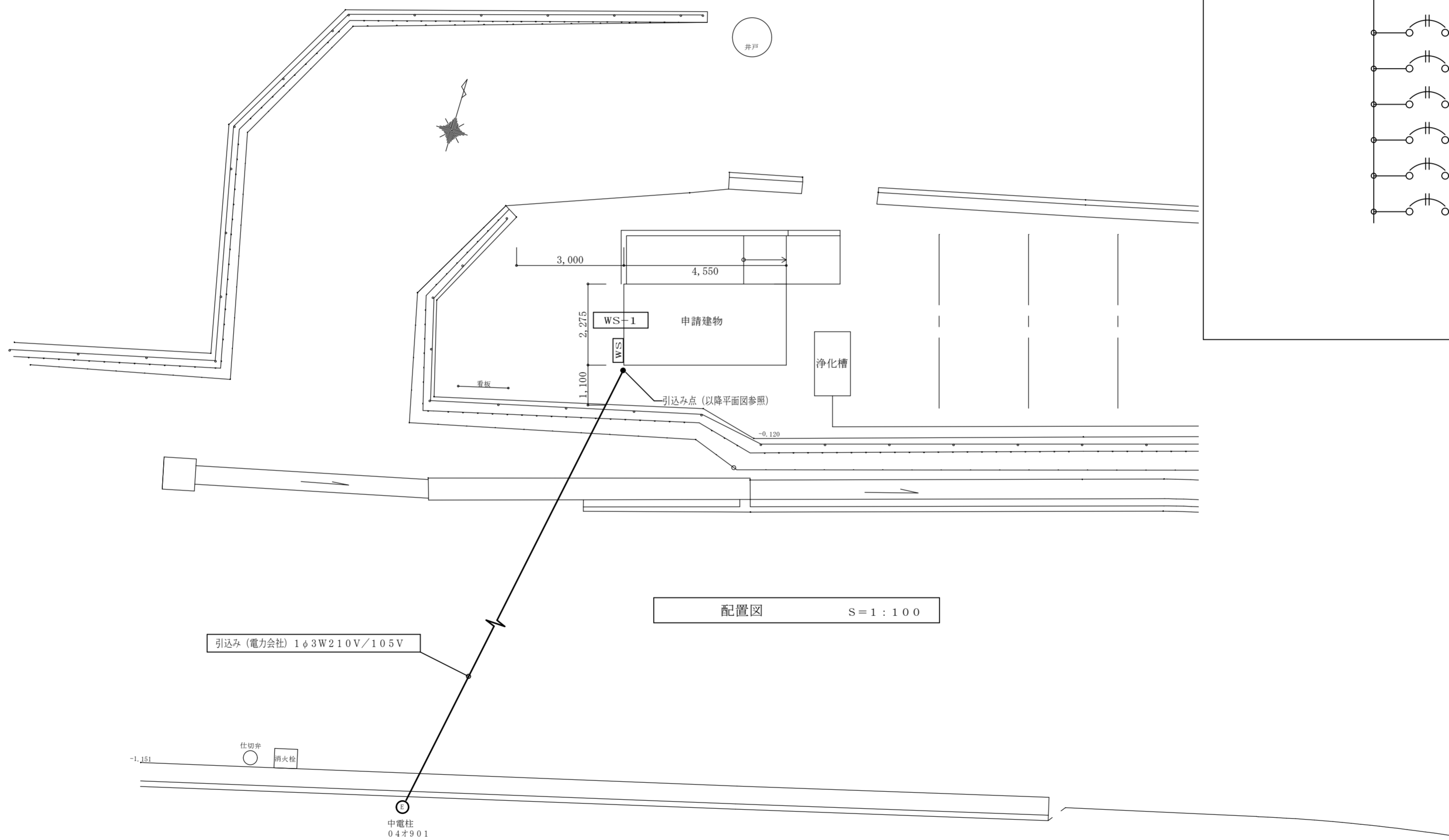
電気設備工事指定資材見積メーカー(参考)

分類	資材名	規格・メーカー名等	(アイエオ順)
電線保護物類	金属管、VE、PF、FEP HIVE、CD、可とう電線管 合成樹脂製可とう管 フロアダクト、各付属品	JISマーク等	
電線、ケーブル 付属品	①IV、TVEF、VV OW、DV、CV、CVV その他ケーブル	JISマーク等	
	②圧着端子、視圧着スリーブ		
	③耐火、耐熱電線	耐火、耐熱電線認定業務委員会の認定を受けている旨の表示(JCMAマーク)のあるもの	
配線器具	コンセント、スイッチ	JISマーク等	
照明器具		岩崎電気㈱ 小泉産業㈱ 東芝ライテック㈱ 日立照明㈱	
		パナソニック電気㈱ 三菱電機照明㈱ ヤマギワ電気㈱ 山田照明㈱	
低圧盤		河村電器産業㈱ 東芝ライテック㈱ 日東工業㈱	内外電機㈱
		パナソニック電気㈱	

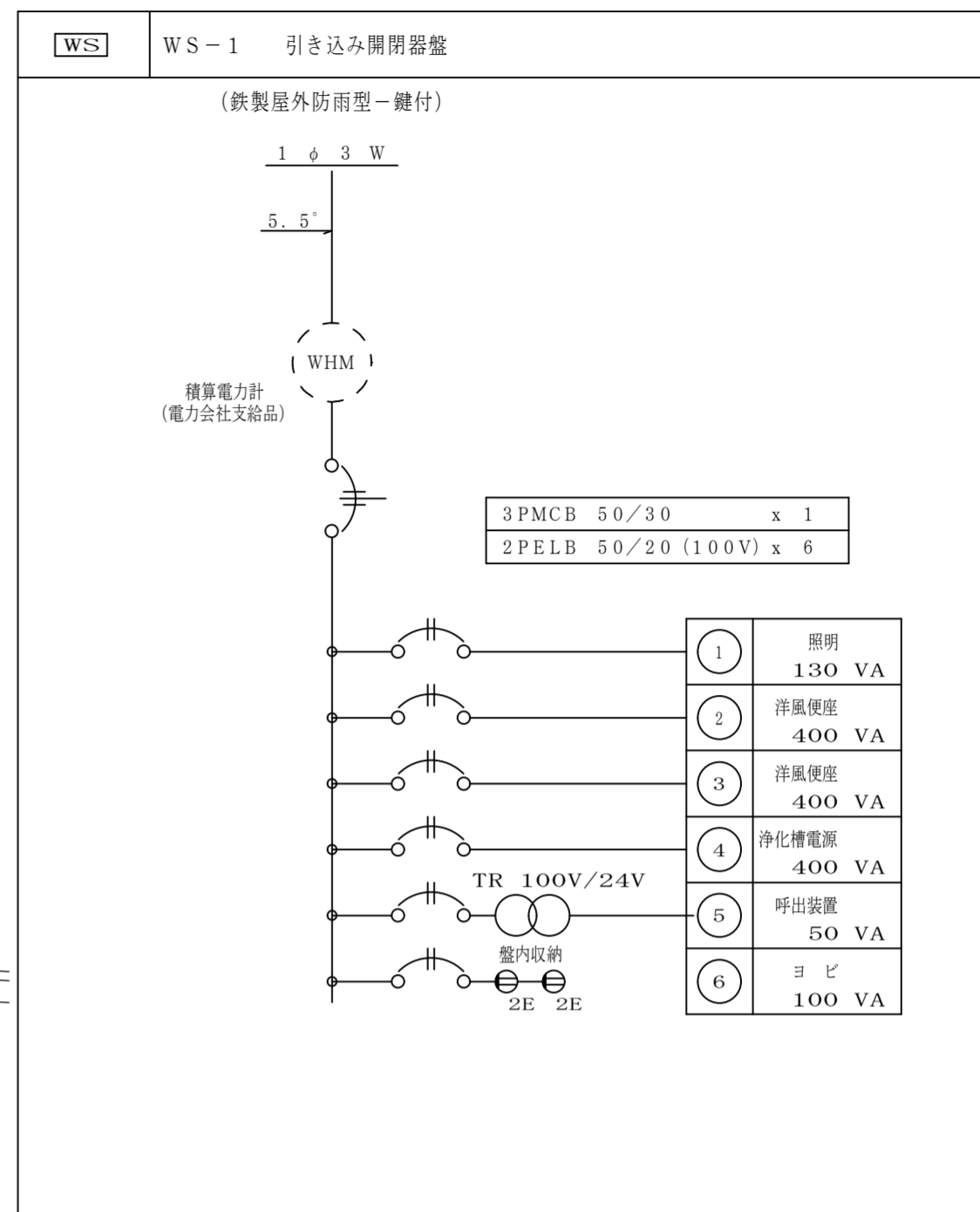
「注記」 ・「JISマーク等」と指定された資材は、工業標準化法施行規則に基づき、製品・包装の外表面、容器の外表面、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるもの。または、JIS規格証明書の添付できるものをいう。  
 ・評価事業名簿とは、国土交通省大臣官庁官庁官庁監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」をいう。但し、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	電気設備 特記仕様書						E- 1
	縮尺						訂正年月日	種別

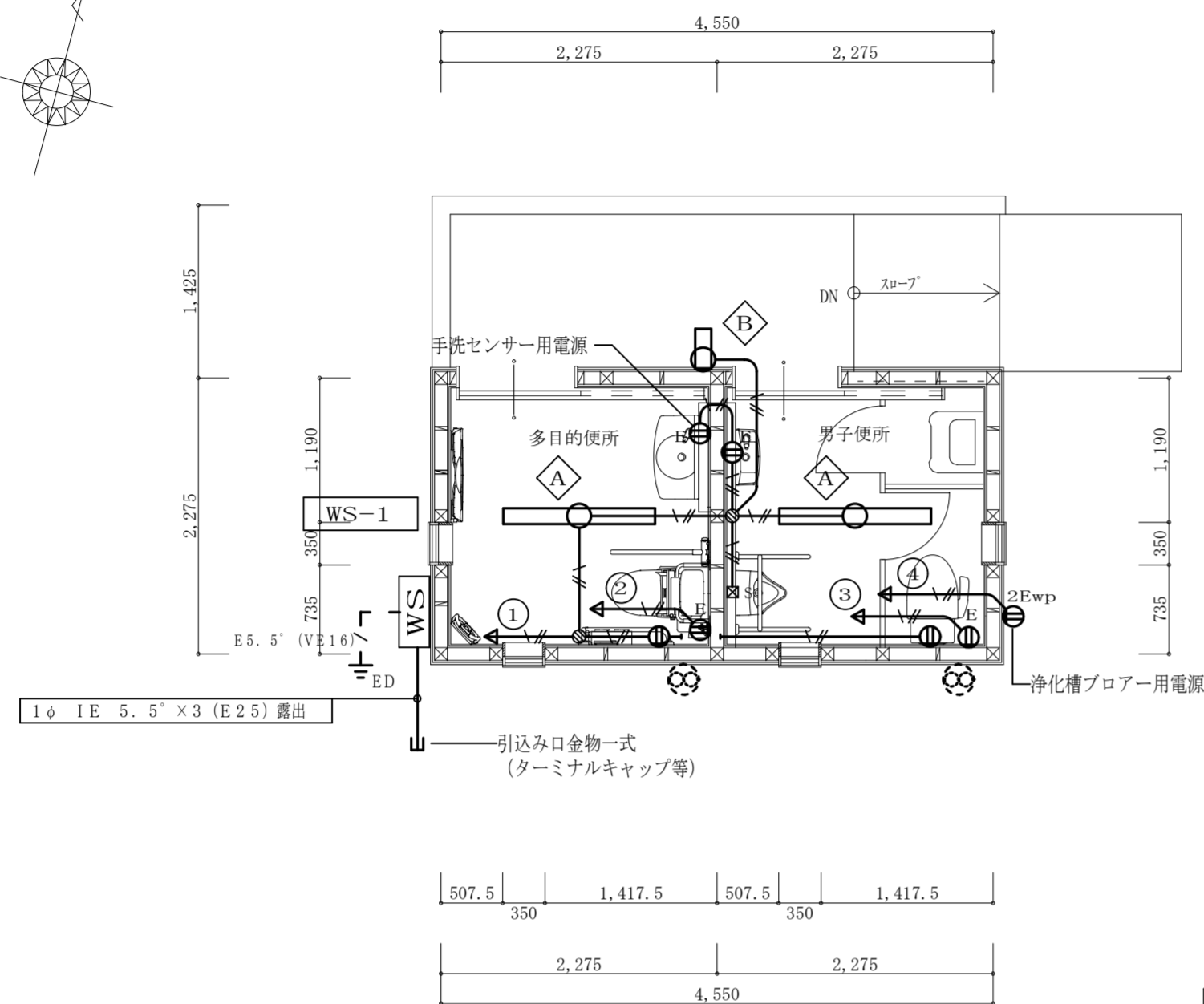
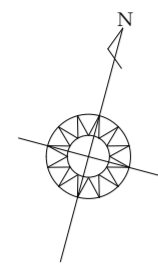




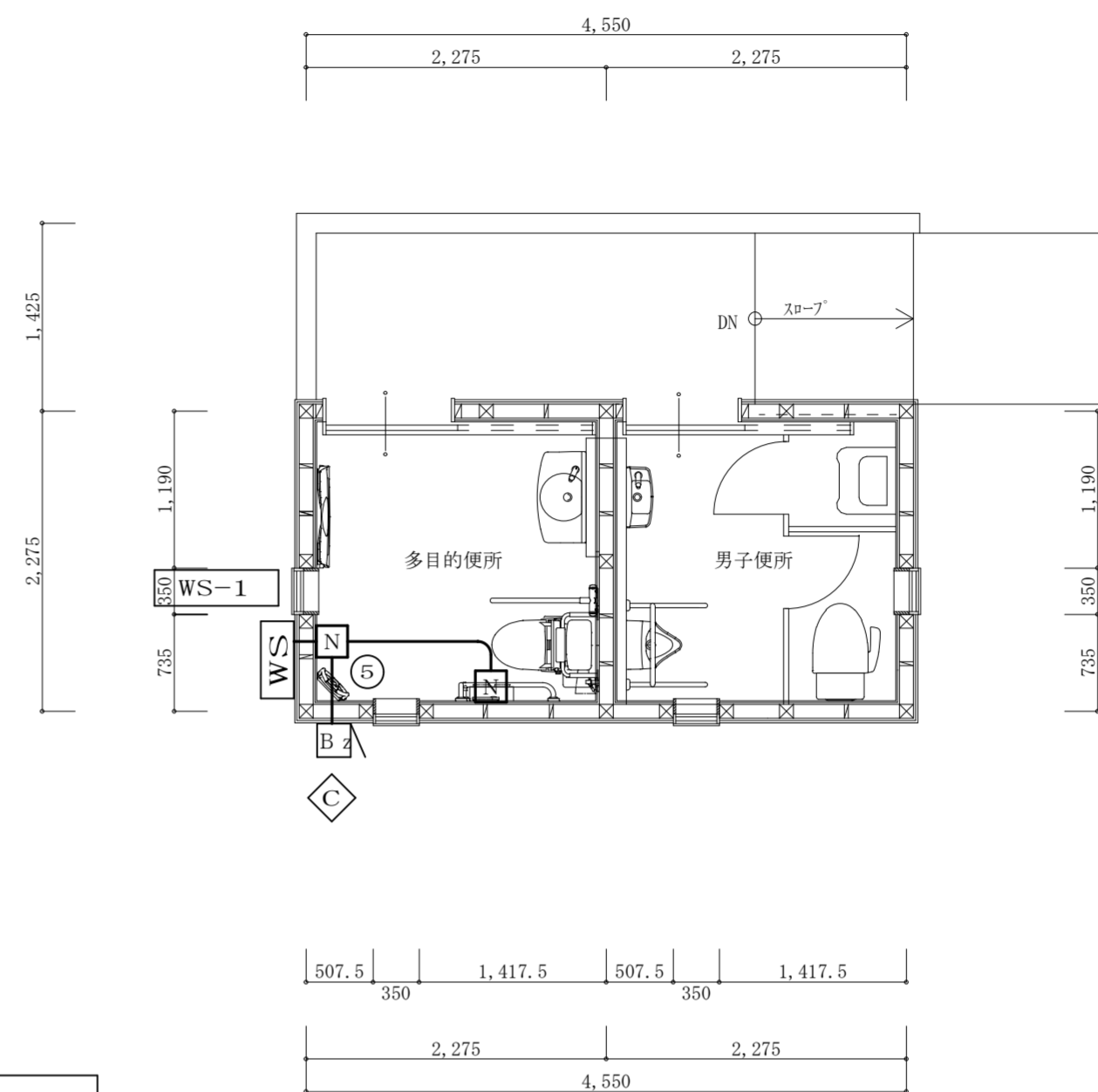
配置図 S = 1 : 100



特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	電気設備 配置図					訂正年月日	E-2
	縮尺	S = 1 : 100						種別



平面詳細図 (強電設備) S = 1 : 50



平面詳細図 (弱電設備) S = 1 : 50

注 配線図中特記なき配管配線は下記とする。

— AE	1.2-2C
— #	EEF 2.0-2C
— //	# 2.0-3C (1C=E3)
— /	# 1.6-3C (1C=E3)

但し、壁内、露出部分は配管保護を行うこと。  
 ☒ S - -WCセンサー用電源を示す。

A	LED 直付型40形一ひと・光センサ付 2370lm-16.9W-140.2lm/W	B	LED電球 ブラケット 810lm-8.4W	C	LED点滅表示灯 (24V-2.2W) 防雨型ブザー付 壁面取付金物共	N	トイレ呼出ボタン (ひも付き)										
<p>定格出力型、電圧100~242V          本体：鋼板 (白色粉体塗装)          ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白)          光源寿命：4000時間 (光束維持率85%)          昼白色 (5000K)、Ra83          電源装置はライトバー側に内蔵          パナソニック 直付XLX420NNCLE9 相当品</p>		<p>ランプ別売          防雨型          カバー：アクリル (乳白つや消し)          カバー：プラスチック (オフブラックつや消し)          壁直付型          幅110・高255・出しろ123          パナソニック NNS12623B 相当品</p>		<p>パトライト PEW-24AB-Y 相当品</p>		<table border="1"> <tr> <td>プレート</td> <td>抗菌ABS樹脂製</td> </tr> <tr> <td>呼出確認灯</td> <td>LED赤色</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30V-3A-ON保持形</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		プレート	抗菌ABS樹脂製	呼出確認灯	LED赤色		30V-3A-ON保持形				
プレート	抗菌ABS樹脂製																
呼出確認灯	LED赤色																
	30V-3A-ON保持形																

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	電気設備 設備図					訂正年月日	E-3
	縮尺	S = 1 : 50						種別

機械設備工事特記仕様書 印を付けたものを本工事に適用する。

建築概要	
工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事
工事場所	三重県伊賀市外山 地内 <span style="float:right">*建築仕様書参照</span>

建物名称	構造	階数	延べ面積	備考
公衆便所	木造	1		*建築仕様書参照

一般事項	
適用仕様書	<input type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省大臣官房官庁宮繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」 <input type="checkbox"/> 空気調和・衛生工学会規格 <input type="checkbox"/> 日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」
優先順位	1. 現場説明事項・質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書
申請手続	工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議する事。
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出すること。
耐震措置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針」による。

特記事項	
<input checked="" type="checkbox"/> 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。	
<input checked="" type="checkbox"/> 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。	
<input type="checkbox"/> 防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。	
<input type="checkbox"/> 建物導入配管（給水、ガス、消火）は十分な可撓性を有する変位吸収配管施工をおこなう。	
<input checked="" type="checkbox"/> 水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはV P管、他は紙製等のスリーブを使用することができる。	
<input type="checkbox"/> 排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。	
<input type="checkbox"/> 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	
<input type="checkbox"/> 土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。	
<input type="checkbox"/> 屋外露出及び多湿箇所（トレンチビット等）の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。	
<input type="checkbox"/> 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。	
<input checked="" type="checkbox"/> 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ステンレス製）とする。	

共通事項																	
保温工事	<input type="checkbox"/> 保温施工範囲は共通仕様書による。 <input checked="" type="checkbox"/> 保温施工種別 <input type="checkbox"/> 共通仕様書による。 <input checked="" type="checkbox"/> 下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）																
	<table border="1"> <tr> <th>屋内露出</th> <th>グラスウール保温筒</th> <th>合成樹脂カバー</th> </tr> <tr> <td>屋外露出・多湿箇所</td> <td>グラスウール保温筒</td> <td>ステンレス鋼板仕上げ</td> </tr> <tr> <td>天井・P S内</td> <td>グラスウール保温筒</td> <td>アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>床下・暗渠内</td> <td>グラスウール保温筒</td> <td>防水麻布（アスファルトプライマー）</td> </tr> </table>	屋内露出	グラスウール保温筒	合成樹脂カバー	屋外露出・多湿箇所	グラスウール保温筒	ステンレス鋼板仕上げ	天井・P S内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス	床下・暗渠内	グラスウール保温筒	防水麻布（アスファルトプライマー）				
屋内露出	グラスウール保温筒	合成樹脂カバー															
屋外露出・多湿箇所	グラスウール保温筒	ステンレス鋼板仕上げ															
天井・P S内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス															
床下・暗渠内	グラスウール保温筒	防水麻布（アスファルトプライマー）															
	<input type="checkbox"/> 保温厚さ <input type="checkbox"/> 共通仕様書による。 <input checked="" type="checkbox"/> 下表による。（但し機器、煙道は共通仕様書による。）																
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>80A以下</th> <th>100～150A</th> <th>200A以上</th> </tr> <tr> <td>給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外のみ）</td> <td>20mm</td> <td>25mm</td> <td>40mm</td> </tr> <tr> <td>冷水管・冷温水管</td> <td>25A以下</td> <td>32～200A</td> <td>250A以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30mm</td> <td>40mm</td> <td>50mm</td> </tr> </table>		80A以下	100～150A	200A以上	給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外のみ）	20mm	25mm	40mm	冷水管・冷温水管	25A以下	32～200A	250A以上		30mm	40mm	50mm
	80A以下	100～150A	200A以上														
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外のみ）	20mm	25mm	40mm														
冷水管・冷温水管	25A以下	32～200A	250A以上														
	30mm	40mm	50mm														
	<input type="checkbox"/> 冷媒配管の露出部は化粧ケース仕上げとする。																

工事種別					
	屋外		屋内		
給排水衛生設備					空調設備
給水設備	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		機器設備
排水設備	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		配管設備
衛生器具設備			<input checked="" type="checkbox"/>		ダクト設備
給湯設備					換気設備
ガス設備					排煙設備
消火設備					自動制御設備
ろ過設備					
浄化槽設備					

工事範囲	
給水方式	<input checked="" type="checkbox"/> 水道直結方式 <input type="checkbox"/> 高架水槽方式 <input type="checkbox"/> 圧送方式 <input type="checkbox"/> FRP製
受水槽 本体	<input type="checkbox"/> ステンレス製 <input type="checkbox"/> 鋼板製 <input type="checkbox"/> FRP製
高架水槽 本体	<input type="checkbox"/> ステンレス製 <input type="checkbox"/> ライニング鋼管
配管材料	<input type="checkbox"/> 塩化ビニル管 <input type="checkbox"/> さや管工法 <input type="checkbox"/> 直結部分 <input type="checkbox"/> その他の部分
弁類	<input type="checkbox"/> 貨品 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
量水器	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
引込加入、市納金等	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
その他	<input type="checkbox"/> 別途工事 <input type="checkbox"/> 本工事
排水方式	<input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 雨水 <input type="checkbox"/> 汚水 <input type="checkbox"/> 雑排水 <input type="checkbox"/> 雨水
放流先	<input type="checkbox"/> 浄化槽 <input type="checkbox"/> 合併処理槽 <input type="checkbox"/> 調整池
配管材料	<input type="checkbox"/> メカニカル形排水鋼鉄管 <input checked="" type="checkbox"/> 硬質塩化ビニル管（V P） <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（白） <input checked="" type="checkbox"/> 硬質塩化ビニル管（V P） <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（白） <input checked="" type="checkbox"/> 硬質塩化ビニル管（V P） <input type="checkbox"/> 遠心力鉄筋コンクリート管（外圧管） <input checked="" type="checkbox"/> 硬質塩化ビニル管（V P）
併類	<input type="checkbox"/> 公団形（B種） <input type="checkbox"/> 現場打ち <input type="checkbox"/> 市販樹 <input checked="" type="checkbox"/> 小口径 <input type="checkbox"/> ビニル樹
大便器洗浄方式	<input type="checkbox"/> F V <input type="checkbox"/> 筒水形 <input type="checkbox"/> 低圧形 <input type="checkbox"/> 洗浄タンク <input type="checkbox"/> 普通コマ <input checked="" type="checkbox"/> 水栓 <input type="checkbox"/> 節水コマ（泡沫式は除く） <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。
給湯方式	<input type="checkbox"/> 中央式 <input type="checkbox"/> ボイラー <input type="checkbox"/> 温水機 <input type="checkbox"/> ガス給湯器 <input type="checkbox"/> 電気温水器 <input type="checkbox"/> 局所式 <input type="checkbox"/> ガス給湯器 <input type="checkbox"/> 瞬間湯沸器 <input type="checkbox"/> 電気温水器
配管材料	<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 被覆鋼管（M O L） <input type="checkbox"/> ステンレス鋼管 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（黒）[油] <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（白）[温水] <input type="checkbox"/> 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 <input type="checkbox"/> 内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 [土中、暗渠] <input type="checkbox"/> 耐熱性硬質塩化ビニル管 <input type="checkbox"/> さや管工法（架橋ポリ管） <input type="checkbox"/> 都市ガス <input type="checkbox"/> L P G <input type="checkbox"/> 灯油 <input type="checkbox"/> A重油 <input type="checkbox"/> 電気
燃料	<input type="checkbox"/> 都市ガス <input type="checkbox"/> L P G <input type="checkbox"/> 灯油 <input type="checkbox"/> A重油 <input type="checkbox"/> 電気
ガスの種別	<input type="checkbox"/> 都市ガス <input type="checkbox"/> 液化石油ガス（発熱量 12,000 kcal / k g） <input type="checkbox"/> 配管材料 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（白） <input type="checkbox"/> ビニル被覆鋼管 [地中埋設部] <input type="checkbox"/> ポリエチレン被覆鋼管 [地中埋設部] <input type="checkbox"/> ポリ管 <input type="checkbox"/> 都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。 <input type="checkbox"/> 別途工事 <input type="checkbox"/> 本工事 <input type="checkbox"/> ボンベ（10kg 20kg 50kg）本数（本） <input type="checkbox"/> 転倒防止鎖等 <input type="checkbox"/> 電気式
メーター	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 貨品 <input type="checkbox"/> 買取品 <input type="checkbox"/> ガス漏れ検警報器 <input type="checkbox"/> 本工事 <input type="checkbox"/> 別途工事
引込納付金等	<input type="checkbox"/> 一般形 <input type="checkbox"/> 自動遮断弁付 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 別途工事 <input type="checkbox"/> 本工事 <input type="checkbox"/> 不要
消火設備の種別	<input type="checkbox"/> 屋内消火栓 <input type="checkbox"/> 屋外消火栓 <input type="checkbox"/> スプリンクラー <input type="checkbox"/> 泡消火 <input type="checkbox"/> 粉末内消火 <input type="checkbox"/> 連結送水管 <input type="checkbox"/> 連結散水管 <input type="checkbox"/> 移動粉末消火 <input type="checkbox"/> フード消火 <input type="checkbox"/> 消火器 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓箱 <input type="checkbox"/> HB-1A <input type="checkbox"/> HB-1B <input type="checkbox"/> HB-2A <input type="checkbox"/> HB-2B <input type="checkbox"/> HB-3A <input type="checkbox"/> HB-3B <input type="checkbox"/> HB-4A <input type="checkbox"/> HB-4B <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> 屋外消火栓箱 <input type="checkbox"/> HB-21 <input type="checkbox"/> HB-22 <input type="checkbox"/> 連結送水管 <input type="checkbox"/> HB-11A,B <input type="checkbox"/> HB-12A,B <input type="checkbox"/> 配管材料 <input type="checkbox"/> 鋼管（JIS G 3452 <input type="checkbox"/> JIS G 3454） <input type="checkbox"/> 消火用塩ビ外面被覆鋼管（V F） <input type="checkbox"/> 消火栓弁 <input type="checkbox"/> JIS 10 kgf/cm2 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 消火栓箱は指定色焼付塗装とする。
ろ過設備	<input type="checkbox"/> ろ過方式 <input type="checkbox"/> 砂 <input type="checkbox"/> フィルター <input type="checkbox"/> 制御 <input type="checkbox"/> 全自動 <input type="checkbox"/> 手動 <input type="checkbox"/> 配管材料 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（白） <input type="checkbox"/> 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 <input type="checkbox"/> 耐熱性硬質塩化ビニル管
方式・容量	<input checked="" type="checkbox"/> 合併 <input type="checkbox"/> 単独 算定人員 5人槽 処理水量 1.0m3 / 日 <input checked="" type="checkbox"/> FRP製 <input type="checkbox"/> コンクリート既製管 <input type="checkbox"/> RC躯体 <input checked="" type="checkbox"/> 補強スラブ <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> その他

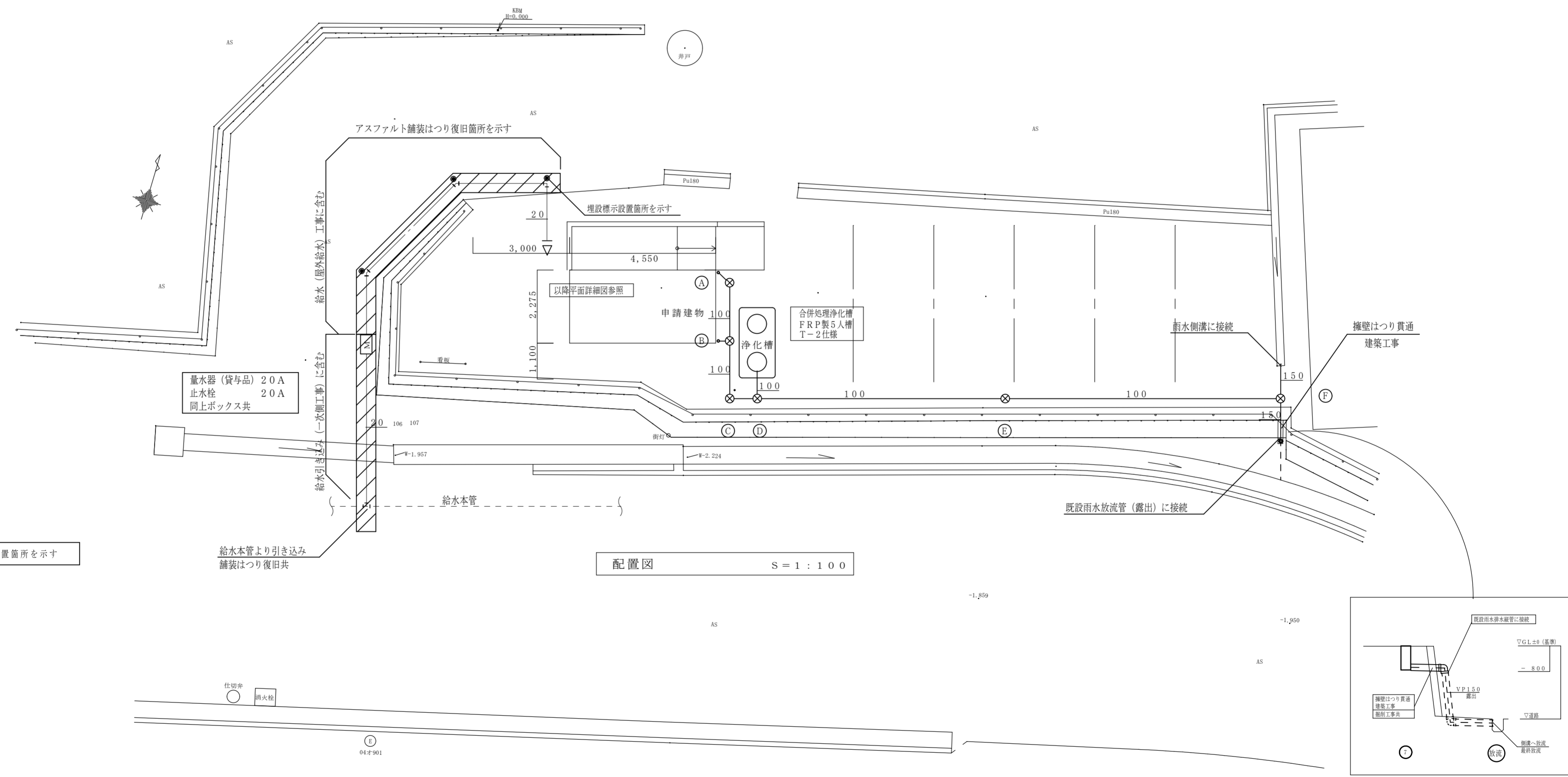
設計空気条件 (指示なきは建設省建築設備設計基準による)	<table border="1"> <tr> <th>&lt;夏季&gt;</th> <th>乾球温度℃</th> <th>湿球温度℃</th> <th>相対湿度%</th> </tr> <tr> <td>外気条件</td> <td>34.0</td> <td>27.5</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>室内条件</td> <td>26.0</td> <td>—</td> <td>50.0</td> </tr> </table>	<夏季>	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%	外気条件	34.0	27.5	60.0	室内条件	26.0	—	50.0	<table border="1"> <tr> <th>&lt;冬季&gt;</th> <th>乾球温度℃</th> <th>湿球温度℃</th> <th>相対湿度%</th> </tr> <tr> <td>外気条件</td> <td>0.0</td> <td>-3.0</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>室内条件</td> <td>22.0</td> <td>—</td> <td>50.0</td> </tr> </table>	<冬季>	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%	外気条件	0.0	-3.0	40.0	室内条件	22.0	—	50.0
<夏季>	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%																							
外気条件	34.0	27.5	60.0																							
室内条件	26.0	—	50.0																							
<冬季>	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%																							
外気条件	0.0	-3.0	40.0																							
室内条件	22.0	—	50.0																							
熱源機器	<input type="checkbox"/> 冷温水発生機 <input type="checkbox"/> チラー <input type="checkbox"/> (空冷H P) <input type="checkbox"/> 空冷 <input type="checkbox"/> 水冷H P <input type="checkbox"/> 水冷 <input type="checkbox"/> 温水ボイラー <input type="checkbox"/> 水蓄熱 <input type="checkbox"/> E H P <input type="checkbox"/> G H P <input type="checkbox"/> F C U <input type="checkbox"/> A C U																									
放熱器 その他																										
配管方式 配管材料	<input type="checkbox"/> 冷媒配管 <input type="checkbox"/> 冷媒用鋼管 <input type="checkbox"/> 冷媒用被覆鋼管 <input type="checkbox"/> 冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷水・温水管 <input type="checkbox"/> 冷却水管 <input type="checkbox"/> 温水配管 <input type="checkbox"/> 冷却水管 <input type="checkbox"/> ドレン管 <input type="checkbox"/> 油管 <input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷媒用炭素鋼鋼管（白） <input type="checkbox"/> ライニング鋼管（VA VB） <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（白） <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（黒） <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（黒）	<input type="checkbox"/> 冷却水配管 <input type="checkbox"/> 冷媒用被覆鋼管 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（白） <input type="checkbox"/> ライニング鋼管（VA VB） <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（白） <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（黒） <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管（黒）																							
弁類	<input type="checkbox"/> JIS 5 kgf/cm2 <input type="checkbox"/> 呼び径100A以上の弁は係員と協議の上バタフライ弁を使用してよい。	<input type="checkbox"/> JIS 10 kgf/cm2 <input type="checkbox"/> JIS 10 kgf/cm2																								
その他																										
風道 風道材質 吹出口・吸込口 その他	<input type="checkbox"/> 低速風道 <input type="checkbox"/> 高速風道 <input type="checkbox"/> 亜鉛鉄板 <input type="checkbox"/> 塩化ビニルライニング鋼板 <input type="checkbox"/> ステンレス鋼板 <input type="checkbox"/> グラスウールダクト <input type="checkbox"/> 消音フレキ <input type="checkbox"/> アルミニウム製 <input type="checkbox"/> 鋼板製（指定色焼付塗装）																									
換気方式 風道 風道材質 吹出口・吸込口 耐火被覆 その他	<input type="checkbox"/> 集中換気 <input type="checkbox"/> 個別換気 <input type="checkbox"/> 低速風道 <input type="checkbox"/> 高速風道 <input type="checkbox"/> 亜鉛鉄板 <input type="checkbox"/> 塩化ビニルライニング鋼板 <input type="checkbox"/> ステンレス鋼板 <input type="checkbox"/> 硬質塩化ビニル管（V U） <input type="checkbox"/> スパイラルダクト <input type="checkbox"/> アルミニウム製 <input type="checkbox"/> 鋼板製（指定色焼付塗装）	<input type="checkbox"/> 湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。 <input type="checkbox"/> 屋外フードは建物同色塗装とする。																								
風道材質 排煙口 排煙口開放装置 復帰方式 排煙風量測定 その他	<input type="checkbox"/> 亜鉛鉄板 <input type="checkbox"/> 普通鋼板（厚1.6mm） <input type="checkbox"/> 排煙口 <input type="checkbox"/> スリット形 <input type="checkbox"/> スイング形 <input type="checkbox"/> 排煙口開放装置 <input type="checkbox"/> 手動 <input type="checkbox"/> 手動及び遠隔操作可能なもの <input type="checkbox"/> 復帰方式 <input type="checkbox"/> 手元形 <input type="checkbox"/> 排煙風量測定 <input type="checkbox"/> 建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。																									
制御方式 その他	<input type="checkbox"/> 電子 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 空気																									
メーカーリスト	下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。																									
管	継手共	水マーク表示品/WSP表示品/JISマーク表示品/HASS表示品/JPP規格品/SAS規格品																								
弁	青銅弁・鋼鉄弁	JISマーク表示品																								
保温材	RW・GW保温材	JISマーク表示品																								
衛生器具	衛生器具類	JISマーク表示品 JIS規格以外：LIXIL/TOTO																								
併	併類（公団型）	協和コンクリート/姦名工業/昭和工業/ネオジオ/丸八産業																								
	併類（塩ビ併）	日本下水道協会、排水設備用樹脂製マス協会規格対象品又は準拠品																								
鋼鉄製品	排水金物	オオタケフアンドリー/カネソウ/ダイドレ/中部コーポレーション/南濃鋼工/福西鋼物/ホクキャスト																								
	鋼鉄製蓋	評価事業者名簿による																								
量水器	量水器	愛知時計電機/金門製作所/リコーエレメック																								
浄化槽	合併浄化槽（RC造）	神鋼パナテック/ダイキ/東海不二工業/西原ネオ工業/フジクリーン工業/藤吉工業																								
	合併浄化槽（FRP製）	建設大臣型式指定品																								
フロア	フロア	朝日機工/アンレット/新明和工業/安永																								
換気扇	換気扇類	栗田工業/東芝/日立製作所/パナソニックエコ/三菱電機																								

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	機械設備 特記仕様書					訂正年月日	種別
	縮尺							

樹リスト 雨水樹

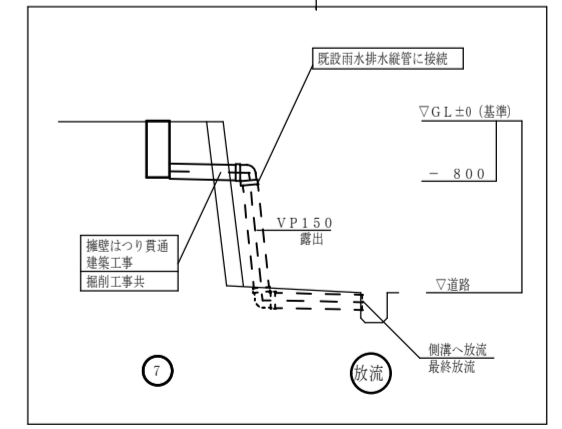
番号	樹名称	樹種別	樹深さ	樹径	主管	蓋種別
Ⓐ	塩ビ製小口径雨水溜め樹	200-100-45L	500	200φ	100	塩ビ製蓋
Ⓑ	塩ビ製小口径雨水溜め樹	200-100-90Y	530	200φ	100	塩ビ製蓋
Ⓒ	塩ビ製小口径雨水溜め樹	200-100-90L	550	200φ	100	塩ビ製蓋
Ⓓ	塩ビ製小口径雨水溜め樹	200-100-90Y	560	200φ	100	塩ビ製蓋
Ⓔ	塩ビ製小口径雨水溜め樹	200-100-ST	640	200φ	100	鋳鉄製蓋 (T-8)
Ⓕ	塩ビ製小口径雨水溜め樹	200-150-90Y	730	200φ	150	塩ビ製蓋

樹レベルは参考とする

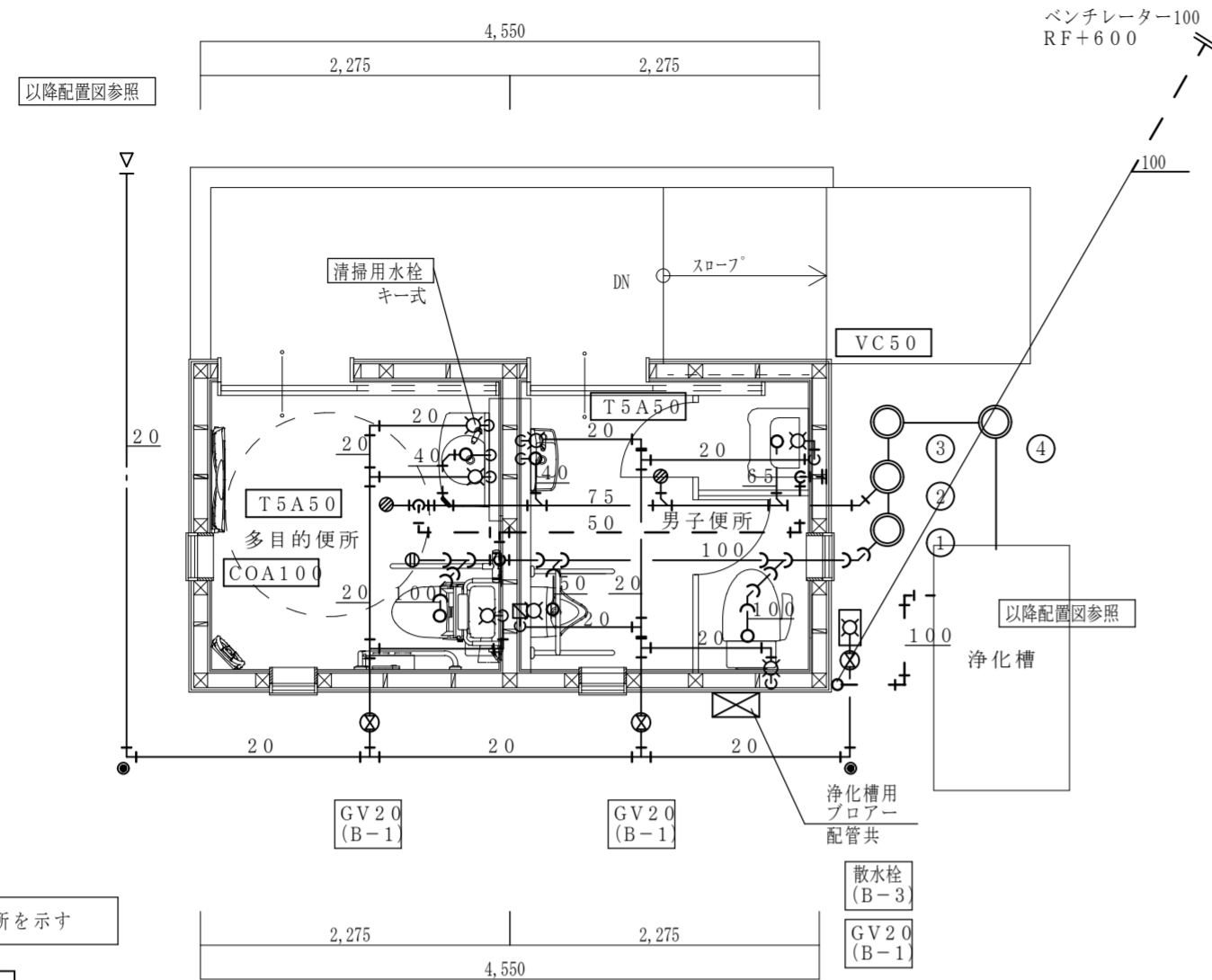
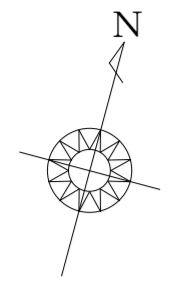


● 埋設標示設置箇所を示す

配置図 S = 1 : 100



特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	機械設備 配置図					訂正年月日	M-2
	縮尺	S = 1 : 100						種別



平面詳細図 S = 1 : 5 0

**注記共通事項**  
 排水勾配 屋外 1/100 屋内 1/50 を基準とする  
 建築設備の構造については、H12 建告1388号に適合する事  
 配管設備の構造は 平12 建告1388号第4の規定に従う (令129条の2の4第2号)  
 給水排水その他の配管設備の設置及び構造について、施工令第129条の2の5各項、各号及び関係告示による  
 給湯設備は、H12告示1388号に示す仕様規定に基づくアンカーボルト等により固定すること。

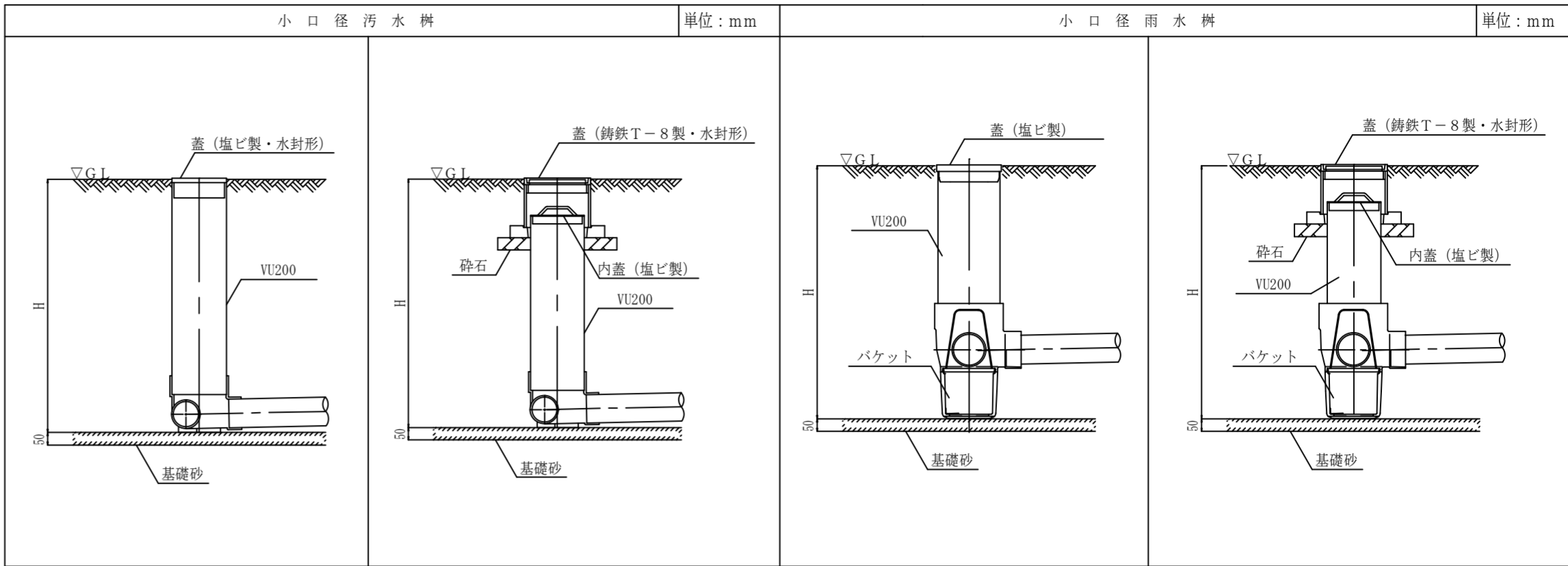
**注記共通事項**  
 腐食防止措置：防食テープ等を仕様する  
 逆流防止措置：水栓とあふれ面の吐水口空間を確保する  
 凍結防止措置：当該地域は寒冷地域では無い為、凍結防止の措置は埋設深度に留意する等にて対応とする  
 ウォーターハンマー防止措置：配管類は堅固に支持、固定とし、流速を抑える等の措置をとるものとする

記号	名称
— — — — —	給水管
— — — — —	排水管
— — — — —	汚水管
- - - - -	通気管

番号	樹名称	樹種別	樹深さ	樹径	主管	蓋種別
①	塩ビ製小口径樹	200-100-45YS	400	200φ	100	塩ビ製蓋
②	塩ビ製小口径樹	200-100-45YS	430	200φ	100	塩ビ製蓋
③	塩ビ製小口径樹	200-100-90L	450	200φ	100	塩ビ製蓋
④	塩ビ製小口径樹	200-100-90L	470	200φ	100	铸铁製蓋 (T-8)

樹レベルは参考とする

記号	名称
○	給水栓
⊕ ⊖	弁類
⊖	床上掃除口
⊙	排水金物
⊗	雨水樹
⊗	雨水樹
○	小口径樹

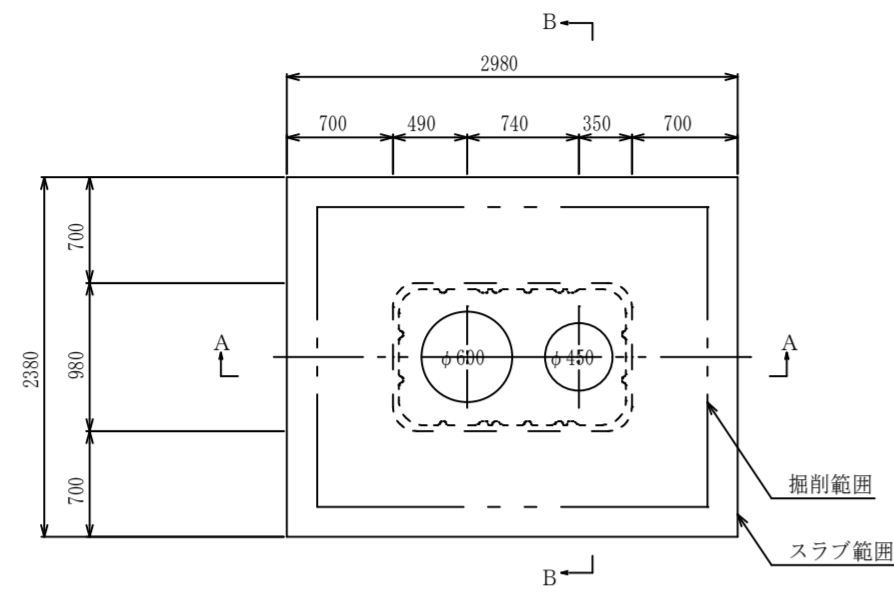


給排水衛生器具表

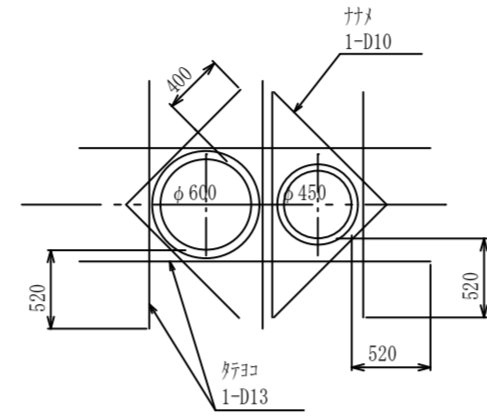
名称	品番	仕様 (その他付属品一式)	男子便所	多目的便所	外部	合計	備考欄
洋風便器 (掃除口付)	CFS497BMC	TCF5553AU (洗浄便座)、(パブリックコンパクト便器フラッシュタンク式)	1	1		2	
スベア付紙巻器	YH121M	ステンレス製、縦二連型	1	1		2	
自動洗浄小便器	UFS900	自動洗浄 (100V)、HH04060		1		1	
手すり (小便器)	T112CU2	T110D3R x 4		1		1	
手すり (L型)	T112CL11	T110D3R x 3	1			1	
手すり (跳ね上げ式)	T112HK7	T110D17S	1			1	
掃除流し	SK22A	T23AEQ20C (水栓)、TK22、T37SGEP (排水S)、T9R (バックハンガー)、HH04060		1		1	
カウンター一体型洗面器	L270CM	TEN77G1 (自動水栓)、T7PW1 (排水金具)、TS126AR (水石輸入)、TL220D、HH04060	1			1	
洗面器	LSE870APFRM	自動水栓、水石輸入、トラップカバー付		1		1	
ベビーベッド	YKA25	固定金具共	1			1	
ベビーチェア	YKA16	固定金具共	1			1	
フック (荷物掛け)	YKH20R	固定金具共		1		1	
化粧鏡	YM3545AE	盗難防止形	1	1		2	
横水栓	T28AKUH13	キー式	1	1		2	
散水栓	T28KUNH13	キー式・散水栓ボックス共			1	1	

注記) 器具の色柄及び仕様は参考として再度打合せの上、決定する事。  
 器具取付箇所は事前に打合せを行い建築工事にて必要な補強を行う事。

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	機械設備 凡例・器具表・平面詳細図					訂正年月日	M-3
	縮尺	S = 1 : 5 0						種別

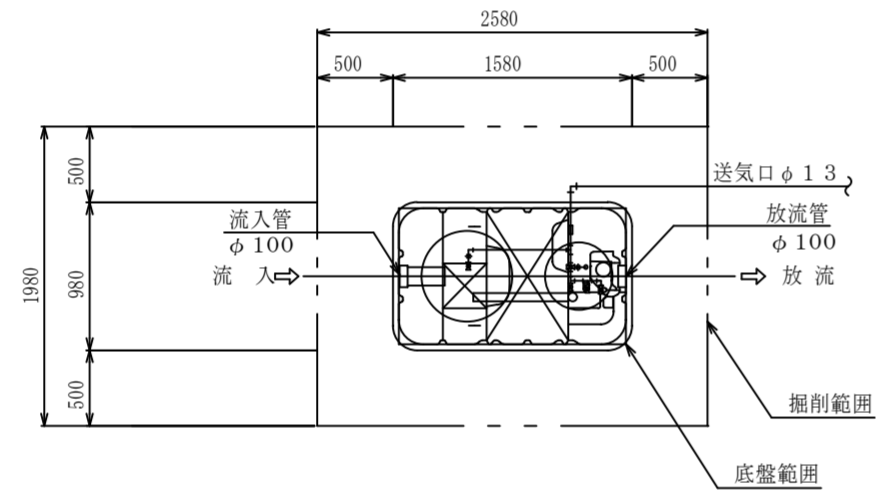


頂版開口図

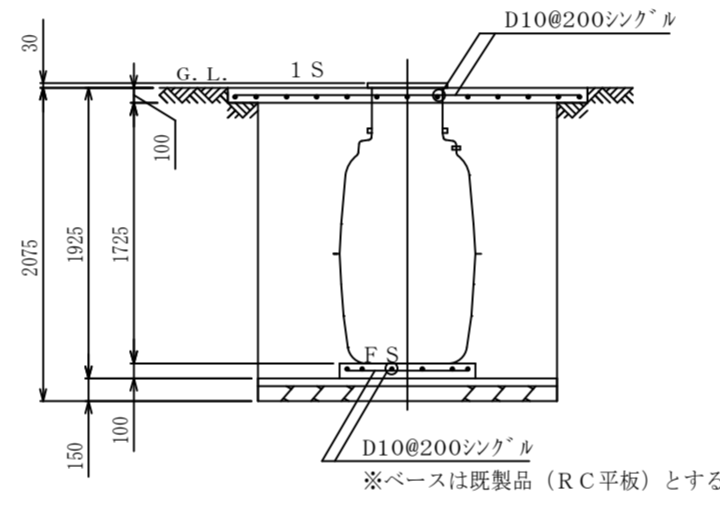


開口補強筋要領図

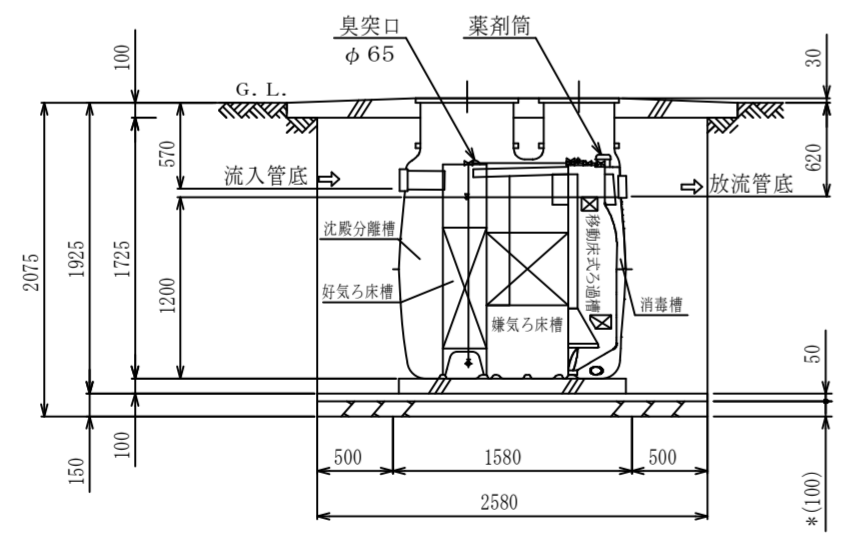
注) 斜め補強筋どおしは交差させない。



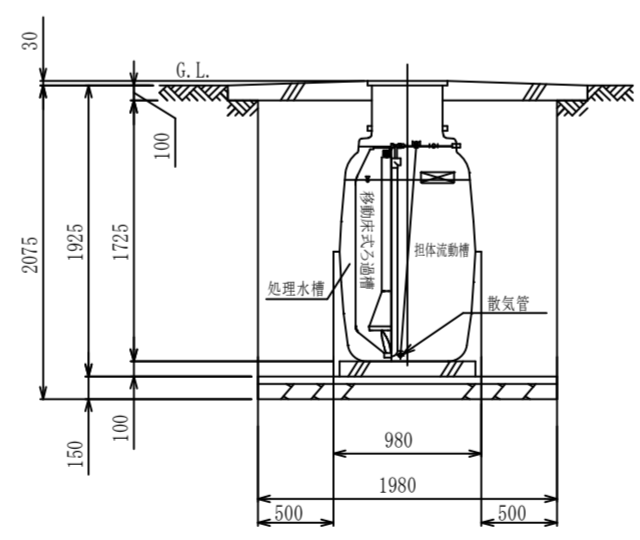
平面図



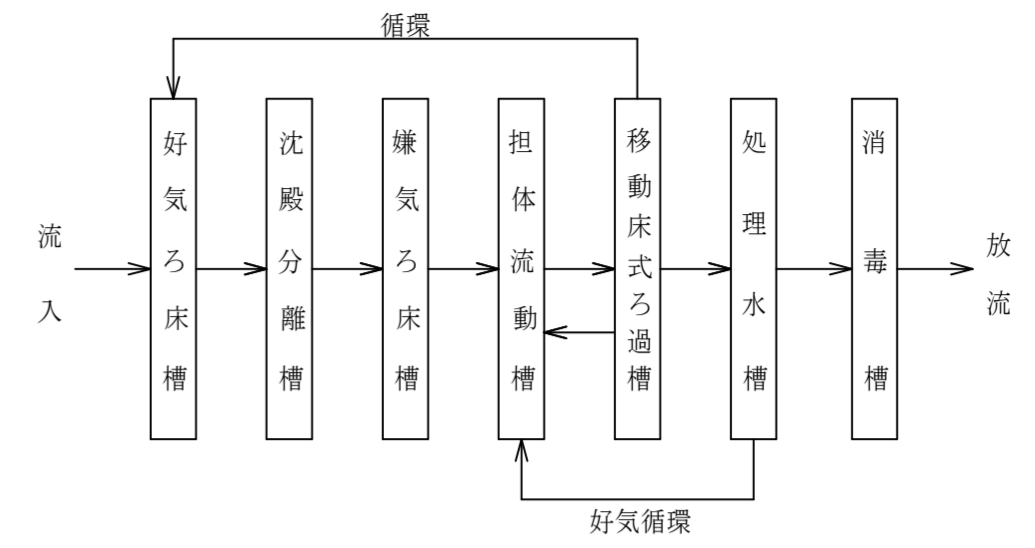
B-B断面配筋図



A-A断面図



B-B断面図



フローシート

仕様	
種類 / 型式	合併処理 / F K Z - 5
処理方法	担体流動ろ過循環方式
処理対象人員	5 人
一人当り汚水量	0.2 m <sup>3</sup> / 人・日
計画汚水量	1.0 m <sup>3</sup> / 日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
BOD除去率	90 %以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
T-N除去率	56 %以上
流入水SS濃度	160 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
SS除去率	91 %以上
有効容量 m <sup>3</sup>	
好気ろ床槽	0.105
沈殿分離槽	0.432
嫌気ろ床槽	0.528
担体流動槽	0.205
移動床式ろ過槽	0.067
処理水槽	0.054
消毒槽	0.015
総容量	1.406
電気機器仕様	
送風機	60L/分 (0.015MPa) 100V, 35W, 1台

特記事項		
使用材料	コンクリート	FC=21-18 (15) - 20 (25) 但し、捨てコン・無筋コンクリートは FC=18N/mm <sup>2</sup>
	鉄筋	SD295A (規格品) 特記なき事項はJASS5による。
配筋事項	継ぎ手・定着長さ	全て40dとする
* 砕石厚サの条件 (本図は砕石100mmとする)		
地盤	土質	岩盤・土丹 砂礫・砂 シルト・粘土・ローム
	N値	N ≥ 10 N < 10 N ≥ 10 N < 2 N ≥ 2
地業 (砕石)	種別	地はだ 砂利 砂利 砂利 砂利
	厚さ (mm)	100 100 60 150 60
地耐力	必要地耐力	40 kN/m <sup>2</sup> (想定)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両等の重量に耐える地盤に設置して下さい。</li> <li>かさ上げが300mmを超えないようにして下さい。</li> <li>本図はかさ上げ300mm取付済の最深施工図です。</li> <li>駐車車両は、総重量2t以下の車両となります。</li> </ul>	

特記	工事名称	佐那具駅前トイレ新築工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	機械設備 合併処理浄化槽詳細図					訂正年月日	M-4
	縮尺	S = 1 : 50						種別